

目次

目次.....	1
第1章 概要.....	3
1.1 はじめに.....	3
1.2 担当実習生.....	3
1.3 実習の特徴.....	3
1.4 実習の概要.....	4
1.5 各クラスの概要.....	5
1.6 実習全体の流れ.....	6
第2章 各係の仕事.....	11
2.1 学習者募集.....	11
2.1.1 対象者を設定するための日本語コースの詳細把握.....	11
2.1.2 日本語コース担当鹿島先生へのアドバイス依頼.....	11
2.1.3 学習者募集の方法と依頼.....	12
2.1.4 説明会.....	12
2.1.5 説明会不参加者への対応——申込者の問い合わせ先設定.....	13
2.2 教室手配.....	13
2.3 備品・会計.....	13
2.3.1 授業で使う機材の手配.....	14
2.3.2 授業を録画するための録画機材の手配.....	14
2.3.3 授業で使う教材用の備品の購入.....	15
2.3.4 会計.....	15
2.4 文書作成.....	15
2.5 報告書・Web.....	30
第3章 事前調査.....	32
3.1 学習者プロフィール.....	32
3.2 アンケート.....	34
3.2.1 漢字クラス.....	34
3.2.2 Eメールクラス.....	35
3.2.3 発音クラス.....	36
3.2.4 聴解クラス.....	38
第4章 クラス概要.....	40
4.1 漢字クラス.....	40
4.1.1 クラス目標.....	40
4.1.2 シラバス.....	40
4.1.3 作成した教材.....	41

4.1.4	授業内容.....	44
4.1.5	漢字クラス全体の反省.....	49
4.2	Eメールクラス.....	49
4.2.1	クラス目標.....	49
4.2.2	シラバス.....	50
4.2.3	作成した教材.....	50
4.2.4	授業内容.....	55
4.2.5	Eメールクラス全体の反省.....	67
4.3	発音クラス.....	67
4.3.1	クラス目標.....	67
4.3.2	シラバス.....	68
4.3.3	作成した教材.....	68
4.3.4	授業内容.....	72
4.3.5	発音クラス全体の反省.....	77
4.4	聴解クラス.....	78
4.4.1	クラス目標.....	78
4.4.2	シラバス.....	78
4.4.3	作成した教材.....	79
4.4.4	授業内容.....	84
4.4.5	聴解クラス全体の反省.....	92
第5章	事後調査.....	94
5.1	漢字クラス.....	94
5.2	Eメールクラス.....	95
5.3	発音クラス.....	97
5.4	聴解クラス.....	98
第6章	まとめ.....	100

第 1 章 概要

1.1 はじめに

本報告書は、2010 年度名古屋大学夏季日本語教育実習についてまとめたものである。この実習では、学習者募集、コースデザイン、本報告書の作成など、すべて実習生が行った。

まず、本章では実習の特徴やコースの概要、スケジュールなど、実習全体の概要を述べる。次に第 2 章では実習生が分担した各係の仕事内容について説明する。第 3 章ではコース説明会の際に行ったアンケート調査について回答を分析する。第 4 章では各クラスのシラバスや教材、授業内容について詳述する。最後に、コース終了後のアンケート調査を第 5 章でまとめ、実習全体の総括を第 6 章で述べる。

1.2 担当実習生

2010 年度名古屋大学夏季日本語教育を担当した実習生は以下の 4 名である。

実習生（4 名）：今澤ひろ子、入江友理、姜京男（韓国）、塩瀬博子

実習生のうち 3 名は、国際言語文化研究科日本語文化専攻博士前期課程 2 年の学生、1 名は国際開発研究科国際コミュニケーション専攻博士後期課程 2 年の学生である。

1.3 実習の特徴

本実習の特徴は以下の 6 点である。

- ①短期集中コースである
- ②コースの中に 4 つのクラスを設ける
- ③クラスは個別の技能に特化したクラスである
- ④プレースメントテストは行わず、クラスの選択は学習者に任せる
- ⑤チームティーチングを行い、1 人が 2 つのクラスを担当する
- ⑥教材は実習生が自主作成する

①に関しては、例年通り約 1 週間の短期集中コースを設定した。

②と③に関して、今回の夏季実習では、普段の日本語の授業では様々な理由でなかなか取り上げることのできないテーマに着目し、個性を持たせた授業を行うことにした。クラスは個別の技能に特化したクラスにし、実習生が 4 名であることから 4 つのクラスを設定した。設定したクラスは、漢字クラス、E メールクラス、発音クラス、聴解クラスである。

④に関しては、③で述べたように今まで学習者が学べる機会が少なかったことを取り上げ、どのレベルの学習者にとっても有意義であるような授業を目指したことから、4つのどの授業においてもプレースメントテストは行わず、クラスの選択は学習者に任せ、好きな授業を好きなだけ受けられるようにした。

⑤に関しては、これも例年と同様にチームティーチングを行うことにした。ただし、実習生4名に対し4つのクラスであるため、1人につき2つのクラスを担当、つまり、1つのクラスにつき2人の実習生が担当することとし、主担当と副担当を決めた。主担当と副担当は、回ごとに担当を分けて授業を行うこととし、自分が担当していない日は各授業を見学し、授業のサポートを行ったり、学習者とコミュニケーションを取ったり、お互いの授業のフィードバックをしたりするなど、積極的に実習に取り組んだ。

⑥の教材については、コースが短期集中コースであることと、クラスが個別の技能に特化したクラスであることなどから、各クラスの担当実習生が自主作成することとなった。

1.4 実習の概要

以下が今回の実習で行うコースの概要である。

期間：2010年7月29日（金）¹～8月5日（木）

教室：留学生センター206・207・301 教室

時間割：

	7月30日（金）	8月2日（月）	8月3日（火）	8月4日（水）	8月5日（木）
1 時間目 9:30~10:30	漢字クラス 1 回目 (オリエンテーション) 塩瀬博子・姜京男	漢字クラス 2 回目 姜京男	漢字クラス 3 回目 姜京男	漢字クラス 4 回目 塩瀬博子	漢字クラス 5 回目 塩瀬博子
2 時間目 10:45~11:45	E メールクラス 1 回目 (オリエンテーション) 姜京男・入江友理	E メールクラス 2 回目 入江友理	E メールクラス 3 回目 入江友理	E メールクラス 4 回目 姜京男	E メールクラス 5 回目 姜京男
3 時間目 12~45:13:45	発音クラス 1 回目 (オリエンテーション) 今澤ひろ子・塩瀬博子	発音クラス 2 回目 塩瀬博子	発音クラス 3 回目 今澤ひろ子	発音クラス 4 回目 塩瀬博子	発音クラス 5 回目 今澤ひろ子

¹ E メールクラスの受講希望者で日本語タイピングが出来ない人のために、事前にタイピングクラス(7月29日・14時30分～16時15分)を開講した。詳しくは4.2を参照のこと。

4 時間目 14:00~15:00	聴解クラス 1 回目 (オリエンテーション) 入江友理・今澤ひろ子	聴解クラス 2 回目 今澤ひろ子	聴解クラス 3 回目 入江友理	聴解クラス 4 回目 今澤ひろ子	聴解クラス 5 回目 入江友理

1.5 各クラスの概要

各クラスの時間、主担当、副担当、大まかな内容は以下の通りである。

①漢字クラス

時間：1 時間目（9：30~10：30）

主担当：塩瀬博子

副担当：姜京男

内容：未知の単語をたくさん知る・覚えることより、未知語に出くわしたとき、その読み方や意味を推測する方法に焦点をあてる。

②E メールクラス

時間：2 時間目（10：45~11：45）

主担当：姜京男

副担当：入江友理

内容：よくある作文クラスとは一味違い、実際に E メールが書けるようになることを目標に E メールの構成と使える表現を提示し、教師とのリアルタイムでのやり取りを通して応用できるようにすることを目標とする。

③発音クラス

時間：3 時間目（12：45~13：45）

主担当：今澤ひろ子

副担当：塩瀬博子

内容：日本語のアクセントが高低アクセントであることを理解し、アクセントを聞きわけたり自分で発音を直したりできることを目標にする。また、実際に学習者が遭遇する場面を考え、練習を行う。

④聴解クラス

時間：4 時間目（14：00~15：00）

主担当：入江友理

副担当：今澤ひろ子

内容：日本のニュースや情報番組を理解できるようになることを目標にする。番組は、幅広いレ

ベルの学習者も楽しんで見られるような、比較的わかりやすい番組を選ぶ。また、日本の歌にも親しめるように、日本のポップスを歌う。

1.6 実習全体の流れ

4月から8月までの実習全体の流れはスケジュール表の通りである。学習者が参加した説明会・実習授業はゴシック体で表記した。また、スケジュール表内の略記については以下の通りである。

(授) : 授業内ミーティング (ミ) : 合同ミーティング (漢) : 漢字ミーティング
 (E) : Eメールミーティング (発) : 発音ミーティング (聴) : 聴解ミーティング
 【渉】 : 渉外係² 【募】 : 学習者募集係 【文】 : 文書作成係 【備】 : 備品係

2010年4月	
13日(火)	(授) 実習生顔合わせ
14日(水)	
15日(木)	
16日(金)	
17日(土)	
18日(日)	
19日(月)	
20日(火)	(授) クラス設定、実習期間決定
21日(水)	
22日(木)	
23日(金)	(ミ) 時間割、担当授業 ³ 、実習方針決定
24日(土)	
25日(日)	
26日(月)	
27日(火)	(授) 行動目標検討 (ミ) 各クラス授業内容検討
28日(水)	
29日(木)	
30日(金)	

2010年5月

² 教室手配、実習担当教員（鷺見幸美先生）以外の教員との交渉を行う係りをまとめて「渉外係」と呼ぶ。

³ 1つの科目を2人で担当し、主担当と副担当を決めた。

1日(土)	
2日(日)	
3日(月)	
4日(火)	
5日(水)	
6日(木)	(発)【募】鹿島央先生に相談 ⁴
7日(金)	(ミ)発音・聴解クラス授業内容検討
8日(土)	
9日(日)	
10日(月)	
11日(火)	(授)漢字・Eメールクラス授業構造と学習者募集の時期・対象・方法検討 (ミ)アンケート調査の方法検討、タイピングクラス実施決定
12日(水)	(聴)アンケート調査の項目と各授業の流れ検討
13日(木)	
14日(金)	(漢)授業内容検討
15日(土)	
16日(日)	
17日(月)	(発)授業内容検討
18日(火)	(授)各授業の構成、クラス人数制限検討 (漢)基本方針と授業内容検討 【募】共有メールアカウント ⁵ 作成
19日(水)	
20日(木)	
21日(金)	(漢)授業内容検討
22日(土)	
23日(日)	
24日(月)	
25日(火)	
26日(水)	
27日(木)	
28日(金)	
29日(土)	
30日(日)	
31日(月)	

⁴ この日、現行日本語プログラムのレベルと、発音指導の現状について伺った。

⁵ 学習者との連絡窓口として、実習生全員がIDやパスワードを共有するメールアカウントをGmailにて取得した。また、このメールアドレスは、Eメールクラスの授業でも使用した。

2010年6月	
1日(火)	(授) 各クラス授業内容、学習者募集の段取り検討
2日(水)	
3日(木)	【募】 虎岩朋加先生に相談 ⁶
4日(金)	
5日(土)	
6日(日)	
7日(月)	
8日(火)	(授) 説明会の日程決定、チラシ内容、授業内容検討 (ミ) 説明会実施、申し込み方法、チラシ内容検討
9日(水)	(漢) (発) 【募】 鹿島央先生に相談 ⁷
10日(木)	(発) 授業内容検討
11日(金)	(漢) 授業内容検討
12日(土)	(ミ) 授業時間を変更、チラシ作成
13日(日)	(漢) 授業内容検討
14日(月)	
15日(火)	(授) チラシ内容、配布時期、説明会会場検討 (発) 授業内容検討 【渉】 説明会会場手配
16日(水)	
17日(木)	
18日(金)	
19日(土)	
20日(日)	(E) (聴) シラバス作成
21日(月)	【募】 法学研究科へ学習者募集のメール配信
22日(火)	(授) 各クラスシラバス検討 (ミ) 説明会の備品、配布物確認
23日(水)	(E) アンケート調査項目検討 【文】 チラシ完成 【渉】 留学生センターに実習使用教室打診 ⁸
24日(木)	(聴) アンケート調査項目検討

⁶ 実習の概要を説明し、名古屋大学大学院に所属する留学生で今回の実習の対象となりそうな留学生がどのくらいいるか、またそれぞれへ募集をかける方法などを伺った。

⁷ 現行の初級日本語特別プログラムを受講している留学生の発音レベル、漢字教育の現状について伺った。対象学生や授業開始時間についてのアドバイスも受けた。

⁸ 全ての回で同じ教室を確保できなかったため、複数回にわたり検討、交渉を行った。

	【渉】 鹿島央先生にコース内容報告
25日（金）	（ミ）学習者向けシラバス、アンケート調査項目、フェイスシート項目検討 （漢）アンケート項目、授業の流れを検討 【渉】 使用教室再検討
26日（土）	
27日（日）	
28日（月）	
29日（火）	（漢）授業内容検討
30日（水）	（ミ）説明会用配布物完成 【募】 鹿島央先生にチラシ配布依頼、ポスター掲示

2010年7月	
1日（木）	【渉】 実習教室確保
2日（金）	【文】 説明会資料・アンケート完成
3日（土）	
4日（日）	
5日（月）	（発）授業内容検討
6日（火）	
7日（水）	第1回・第2回説明会実施、申し込み受付 （聴）佐藤弘毅先生に電子黒板借用依頼
8日（木）	
9日（金）	第3回・第4回説明会実施、申し込み受付⁹
10日（土）	（聴）授業内容検討
11日（日）	【募】 学習者名簿作成
12日（月）	（漢）授業内容検討
13日（火）	（授）各授業教案検討1回目
14日（水）	
15日（木）	
16日（金）	（E）タイピングクラス授業内容検討
17日（土）	
18日（日）	（聴）教材作成
19日（月）	（漢）授業担当検討 （E）授業内容検討
20日（火）	（授）各クラス教案検討2回目 （ミ）各クラスの現状確認、備品決定、事後調査の項目検討

⁹ 説明会に参加できないが受講を希望する学習者は、学習者募集係が個別に会い申し込みを受け付けた。最終的な参加者数は7月27日に確定した。

	(発) 教材作成 (聴) 教材作成、教案検討
21日(水)	(聴) 授業内容検討 【募】 学習者メールアドレスリスト作成
22日(木)	【備】 備品購入1回目
23日(金)	
24日(土)	
25日(日)	
26日(月)	(発) 教材作成、授業内容検討 【募】 実習開始のリマインダーメールを学習者に送付
27日(火)	(授) 最終ミーティング 【備】 備品購入2回目
28日(水)	
29日(木)	(E) タイピングクラス実施 【募】 学習者出席簿作成
30日(金)	夏季実習1日目(オリエンテーション)
31日(土)	(ミ) 事後調査項目決定

2010年8月	
1日(日)	事後調査表作成
2日(月)	夏季実習2日目
3日(火)	夏季実習3日目
4日(水)	夏季実習4日目
5日(木)	夏季実習5日目

(担当 今澤ひろ子・入江友理・姜京男)

第 2 章 各係の仕事

2.1 学習者募集

本年度の学習者募集係が行った仕事は以下の通りである。

- ① 現行の名古屋大学留学生センター¹⁰（以下 ECIS）日本語プログラム詳細把握
- ② ECIS 日本語プログラム担当の先生からのアドバイス
- ③ 学習者募集の方法と依頼
- ④ 学習募集を依頼した先生方へのお礼のメールや挨拶
- ⑤ 申込者の窓口担当

2.1.1 対象者を設定するための日本語コースの詳細把握

実習担当の先生から半年コースと全学コースの鹿島央先生を紹介していただき、メールにて相談内容と訪問日時の連絡・打診をした。対象者設定のため、5月6日に先生を訪ね、全学と ECIS で開講しているコース内容、クラスレベル、人数などの詳細を伺った。対象学生を初中級で設定していたため、全学で開講されているどのクラスが ECIS での該当クラスに対応しているか、レベルのクラスマッチングについても説明を受けた。¹¹

2.1.2 日本語コース担当鹿島先生へのアドバイス依頼

コースの概要が決まったので、それを前提として6月9日に再度鹿島先生にアドバイスを求めた。アドバイスを受ける前のコース設定を述べる。

対象者 : 初中級レベルで、ECIS、全学、各研究科の留学生
期間 : 5日間
実習時間 : 10時～14時50分で1日4コマ（1コマ50分）
開講クラス : 漢字・Eメール・発音・聴解の4つの特化クラス

この設定に対する先生からのアドバイスは以下の通りである。

- (1) 対象者はあまり広げすぎない方がいい。研究科は外してもいいかもしれない。
- (2) 夏季の暑さのことも考慮し、授業開始時間をもう少し早くした方がいいかもしれない。
- (3) 対象者については、ECIS の 6 カ月コースの初級と全学コースの初級クラス、初中級ク

¹⁰ 名古屋大学留学生センター (Educational Center for International Students)。

¹¹ 全学コースにおける開講クラスのうち、二つが ECIS の 6 カ月コースのクラスと対応していた。

ラスが大体同じレベルであり、妥当である。

上記のアドバイスによる内容検討を図るため、6月12日に第7回のミーティングを行った。当初全研究科の留学生を対象としていたが、アドバイスの(1)により、対象とする研究科を絞ることになった。そこで、春季実習での受講者が多く、直接「受けてい」という希望が実習生に伝えられていた法学研究科のみを対象とすることに決まった。ただし、国際開発研究科にはポスターを貼ることとした。

また、実習時間についてはアドバイス(2)により、開始時間を当初の予定より30分早めて9時半からとし、1コマの時間も60分に変更された。

2.1.3 学習者募集の方法と依頼

1) 法学研究科

国際言語文化研究科の留学生担当である虎岩朋加先生にメールでアポイントを取り、6月3日に夏季集中日本語コースの趣旨と概要を説明し、学習者募集への協力の依頼を打診した。双方で話し合った結果、コースのポスターができ次第、虎岩先生に添付にて送り、法学研究科の留学生担当である奥田沙織先生にそれを転送し、コース情報をメーリングリスト(以下、ML)で流して頂くことになった。

6月21日、虎岩先生より法学研究科の奥田先生にコース内容ポスターが転送され、直ちに同研究科の留学生を対象にその内容がMLで流された。あわせて同研究科にポスター掲示もなされた。

2) ECIS

6月24日、ECISプログラム担当の鹿島先生に夏季実習についての最終的な決定内容を報告した。それとともにECISプログラムを受講している留学生にチラシを配布したい旨を伝えたところ、鹿島先生が授業後に直接配って下さることになったため、印刷した50枚のチラシを渡し、配布を依頼した。また、6月30日に留学生センター事務室へ行き、ポスター掲示の許可を取った。

3) 国際開発研究科

6月30日に同研究科にポスター掲示の依頼をした。

2.1.4 説明会

集中日本語コース説明会は7月7日(水)と7月9日(金)の2回に渡り、文系総合館7F 702カンファレンスホールで行われた。説明会の時間は各日13:00~14:00、16:30~17:30まで、1日2回実施した。実施内容は、パワーポイントを用いた担当者による説明、質問受け付け、アンケート記入がである。

2.1.5 説明会不参加者への対応——申込者の問い合わせ先設定

Gmailにてこのコースのアカウントを作り、7月7日と7月9日の説明会に参加できなかった申込者の問い合わせ先とした。説明会后、7名から問い合わせを受け、7月12日から27日までの間に個別に会って、参加受付を行った。

また7月25日に、受講学生にコース開始のリマインダーメールを送付し、追記としてEメールクラスにおいてノートPCが不足する可能性があったため、ノートPCを持っている学生は持参するようアナウンスをした。

2.2 教室手配

説明会会場と教室の手配に関する仕事は以下の通りである。

7月7日と7月9日の説明会会場の予約を6月15日に行った。会場として文系総合館7Fのカンファレンスホールを確保することができた。

教室手配はまず全学教育棟のCALL教室とSIX教室を確保しようとしたが、テスト期間中により不可となった。6月23日に留学生センターの担当者と交渉し、教室の申し込みを行った。Eメールクラスの授業に必要な学生用のノートPCは206教室に保管されているが、206教室にはプロジェクターとスクリーンは設置されていないため、当初、他の教室を使用し、206教室のノートPCを運び入れることを予定していた。しかしノートPCの教室外持ち出しはできないということであったため、206教室を使用することになった。また、午前中は全日206教室を確保することができたが、後後は他の会議等により、全日確保することができなかつたため、日によって教室が異なる。

教室は以下のように決まった。

	7/30	8/2	8/3	8/4	8/5
漢字クラス	206	206	206	206	206
Eメールクラス	206	206	206	206	206
発音クラス	301	207W	206	207W	206
聴解クラス	301	207W	206	207W	206

(担当 塩瀬博子)

2.3 備品・会計

本年度、備品・会計係が行った仕事は以下の通りである。

- ①授業で使う機材の手配
- ②授業を録画するための録画機材の手配
- ③授業で使う教材用の備品の購入

④会計

2.3.1 授業で使う機材の手配

今回の実習で手配した機材は以下の 6 点である。

- ・ノート PC
- ・プロジェクター
- ・スクリーン
- ・スピーカー
- ・電子黒板¹²
- ・録画用のデジタルカメラと三脚

まず、E メールクラスで学生が使用するノート PC を確保するため、午前中の授業をする教室として、学生用のノート PC が置いてある ECIS の 206 教室を手配した。しかし、206 教室にはプロジェクターやスクリーンがないことから、別途プロジェクターとスクリーンを確保する必要があったため¹³、国際言語文化研究科の経理課用度グループでプロジェクター1台とスクリーン1本を借用した。また、午後、聴解クラスの授業を 206 教室で行う際にスピーカーも必要であったため、国際言語文化研究科日本語文化専攻の大学院生室からスピーカー1台を借用した。これら、プロジェクター、スクリーン、スピーカーは 8 月 5 日の実習終了後に直ちに返却した。

次に、聴解クラスの授業で使用する電子黒板を、ECIS の佐藤弘毅先生からお借りした。佐藤先生の許可を得て、電子黒板は 7 月 29 日のタイピングクラス終了後に、206 教室に運び入れ、実習終了までは 206 教室に置いておくこととした。返却は 8 月 6 日に行った。

発音クラスの 3 日目と 5 日目の録画で使用するデジタルカメラは、発音クラス担当者の私物を使用した。三脚は国際言語文化研究科日本語文化専攻の大学院生室から借用し、使用后、8 月 5 日に直ちに返却した。

2.3.2 授業を録画するための録画機材の手配

各授業を録画するため、ビデオカメラ 1 台を手配した。ECIS の衣川隆生先生から、「とよた日本語学習支援システム」所有のビデオカメラ 1 台と三脚 1 本、録画した映像を処理するためのソフト (HDWriter) をお借りした。

ビデオカメラと録画した映像の管理は本担当者が行った。ビデオカメラは、録画した映像をデータ用に処理した後、カメラ内の映像を消去してから返却した。

¹² 電子黒板については第 4 章の 4.4.4 を参照のこと。

¹³ 漢字クラスと E メールクラスで Power Point を使用した授業を予定していた。

2.3.3 授業で使う教材用の備品の購入

漢字クラスの 5 日目の授業で書道をするため、書道の道具が必要であったが、筆、墨汁、硯、下敷き、文鎮、半紙など、書道に必要なものはすべて国際言語文化研究科日本語文化専攻の大学院生室にあったため、新たに購入はしなかった。

授業で使う備品のうち、昨年度の剰余で賄えない分に関しては、新たに購入した。助教の川口直巳先生に連絡し、南部生協と一緒に買いに行っていた。購入した物品とその金額は「2.3.4 会計」に記す。1 回目の買い出しは 7 月 22 日に行き、店頭で数が不足していた分と取り寄せが必要なものに関しては注文し、7 月 27 日の 2 回目の買い出しの時に受け取った。

2.3.4 会計

購入した物品と、その数量、単価、小計、合計金額は以下の通りである。

	単価	数量	小計
ファイル (A4・10 ポケット)	134 円	30 冊	4020 円
白画用紙	32 円	31 枚	992 円
青画用紙	42 円	15 枚	630 円
色上質紙 (100 枚入り)	210 円	1 袋	210 円
マグネットシート (太幅)	504 円	2 巻	1008 円
情報カード (100 枚入り)	420 円	2 袋	840 円
			合計 7700 円

(担当 入江友理)

2.4 文書作成

文書作成係の仕事内容は、教育実習に関わる配布資料を日本語版と英語版を作成し編集することである。作成したものは以下の 5 点である。

- ① 学習者募集用のチラシ
- ② 説明会用の申込書
- ③ 説明会用のアンケート
- ④ 学習者向けシラバス
- ⑤ 事後アンケート (日本語版のみ)

各文書は、まず全体ミーティングで大まかな内容を考え、各クラスの担当者と副担当者が具体

的な内容を考え、担当者を中心に作成した。その後、全体ミーティングを行い、意見交換を行った。日本語版が完成した時点で文書作成係は英語版を作成し、アメリカ人にネイティブチェックを依頼した。完成した英語版は、ML に流し、各クラスの担当者が、意図した内容と英語の表現に違いはないかを確認した。最終的な完成版は全体ミーティングで目を通して最終確認を行った。事後アンケートは、全体ミーティングで項目を考えて作成した。

ここでは、作成した文書を以下の順に載せる。

- ① 学習者募集用のチラシ（カラー、モノクロ）
- ② 説明会用の申込書
- ③ 説明会用のアンケート
- ④ 学習者向けシラバス
- ⑤ 事後アンケート(日本語版のみ)

NAGOYA UNIVERSITY INTENSIVE JAPANESE COURSE 2010

2010年度 名古屋大学 集中日本語コース

5日間の夏季集中日本語コースに参加される方を募集しています。

We are accepting applications for a five day Summer Intensive Japanese Course.

期間
Period

2010年7月30日(金)~8月5日(木) 午前9時30分~午後3時
July, 30th (Fri) to August, 5th (Thurs) 9:30am to 3:00pm

コース内容
Contents of
this course

クラスは以下の4つのクラスがあり、好きなクラスをいくつでも選んで受ける
ことができます。

There are FOUR CLASSES to choose from, and you can attend as
many classes as you want.

漢字クラス
Kanji Class

Eメールクラス
E-mail Class

発音クラス
Pronunciation Class

聴解クラス
Listening Class

このコースでは、名古屋
大学大学院国際言語文化
研究科日本語文化
専攻の大学院生が、日
本語教育実習の一環とし
て日本語の指導をいたし
ます。

This course will be
taught by graduate
students of the
Graduate School of
Languages and
Cultures, Nagoya
University as part of
the "Teaching
Japanese as Foreign
Language, Teaching
Practice" class.

教師は実習生ですので、
受講料は必要ありませ
ん。

Since we are still
trainees, this course
is FREE!!

●問い合わせ先●

●Reference●

塩瀬 博子(Hiroko SHIOSE)
2010japanese@gmail.com

	7月30日(金)	8月2日(月)	8月3日(火)	8月4日(水)	8月5日(木)
1時間目 9:30am~10:30am	漢字クラス オリエンテーション Orientation		漢字クラス Kanji Class		
2時間目 10:45am~11:45am	Eメールクラス オリエンテーション Orientation		Eメールクラス E-mail Class		
3時間目 12:45am~1:45pm	発音クラス オリエンテーション Orientation		発音クラス Pronunciation Class		
4時間目 2:00pm~3:00pm	聴解クラス オリエンテーション Orientation		聴解クラス Listening Class		

詳細を知りたい方、申し込みたい方は、下記の説明会にお越しください。

Please come to the explanatory meeting,

↓↓↓ if you want to know the details or apply to this course. ↓↓↓

●説明会 Explanatory Meeting●

日時 : ①7月7日(水) 1:00pm to 2:00pm ②7月7日(水) 4:30pm to 5:30pm

Date&Time ③7月9日(金) 1:00pm to 2:00pm ④7月9日(金) 4:30pm to 5:30pm

場所 : 文系総合館 7F 702 カンファレンスホール

Place Integrated Research Buildings(Arts and Humanities) 7F 702 Conference Hall

もし、どの回にも来られない場合は、2010japanese@gmail.com(担当:塩瀬博子)までお問い合わせください。

Please email Hiroko SHIOSE at 2010japanese@gmail.com, if you cannot come to any of the explanatory meetings.

クラス紹介 Presentation of Classes

知らない漢字があったとき、どうしますか？
What if you come across unknown Kanji?

●漢字クラス Kanji Class●

※外来語も少し勉強します You will learn some of loanwords

- 漢字の組み立てについて知り、パーツよって漢字ができていることを勉強します。そのパーツを手書きに、わからない漢字の読み方や意味が推測できるように練習します。

In this class, you will understand how kanji are made by learning about the process of putting sub-parts together in a kanji. Using these clues, you also will understand how to read the kanji and what they mean.

- 英語を外来語としてカタカナで書くときのルールと、和製英語(「コンセント」など)がわかるように練習します。In addition, you will learn the rule for writing English loan words in Katakana and how to understand Japanese-English words such as コンセント。

- 書道を体験します。You will also have calligraphy experience during this class.

対象レベル：初級-上から中級-中
Intended Level: Novice-high to Intermediate-mid



日本語でEメールを書いてみよう！
Let's write E-mails in Japanese!

●Eメールクラス E-mail Class●

- 日本語のEメールの書き方や、Eメールで使われる様々な表現を勉強します。

You will get to know how to write E-mails in Japanese and use various expressions used in E-mails

- パソコン室のパソコンを使って、実際にEメールをその場で書く練習をします。You will write E-mails by yourself during the class, (no comma) using computers in the computer room with us.

- 日本語でタイピングができない人は、事前にタイピングの指導をします。If you do not know how to type in Japanese, we will teach it to you in advance before the class.

対象レベル：中級-下から中級-上
Intended Level: Intermediate-Low to Intermediate-high



日本人のような発音で話してみたいと思いませんか？
Don't you want to speak Japanese with the real accent?

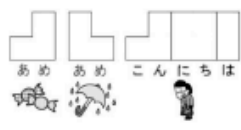
●発音クラス Pronunciation Class●

- AD図 (accent diagram) を使って、日本語のアクセントやイントネーションの聞き分け/言い分けができるように練習をします。

You will be able to hear and actually use Japanese accent and intonation appropriately, using the AD (Accent Diagram) chart

- 日本語で話をする場面のロールプレイをします。ロールプレイは録音をし、自分がどんな発音をしているのか、聞いてみます。特に、大学の先生と話す場面の練習をします。You will talk in Japanese while role-playing and you will be recorded so you can check your pronunciation. You will mostly be in situations in which you talk with college teachers.

対象レベル：初級-上から中級-中
Intended Level: Novice-high to Intermediate-mid



日本の情報番組を見てみよう！
Watch an information TV program in Japan

●聴解クラス Listening Class●

- テレビ番組「そうだったのか！池上彰の学べるニュース」を見て、日本や世界の出来事について勉強します。政治、法律、経済、教育、国際関係などの中からいくつかのトピックを取り上げます。

You will study events that happened not only in Japan but worldwide such as politics, law, economics, education and international relations, while watching a TV show called 「そうだったのか！池上彰の学べるニュース」.

- 日本のポップスを1曲歌います。You will sing one of J-POP songs.

対象レベル：初級-上から中級-上
Intended Level: Novice-high to Intermediate-high



NAGOYA UNIVERSITY INTENSIVE JAPANESE COURSE 2010

2010年度 名古屋大学 集中日本語コース

5日間の夏季集中日本語コースに参加される方を募集しています。

We are accepting applications for a five day Summer Intensive Japanese Course.

期間

Period

2010年7月30日(金)～8月5日(木) 午前9時30分～午後3時
July, 30th (Fri) to August, 5th (Thurs) 9:30am to 3:00pm

コース内容

Contents of
this course

クラスは以下の4つのクラスがあり、好きなクラスをいくつでも選んで受ける
ことができます。

There are FOUR CLASSES to choose from, and you can attend as
many classes as you want.

漢字クラス
Kanji Class

Eメールクラス
E-mail Class

発音クラス
Pronunciation Class

聴解クラス
Listening Class

このコースでは、名古屋
大学大学院国際言語文化
研究科日本語文化
専攻の大学院生が、日
本語教育実習の一環とし
て日本語の指導をいたし
ます。

This course will be
taught by graduate
students of the
Graduate School of
Languages and
Cultures, Nagoya
University as part of
the "Teaching
Japanese as Foreign
Language, Teaching
Practice" class.

教師は実習生ですので、
受講料は必要ありませ
ん。

Since we are still
trainees, this course
is FREE!!

●問い合わせ先●

●Reference●

塩瀬 博子(Hiroko SHIOSE)
2010japanese@gmail.com

	7月30日(金)	8月2日(月)	8月3日(火)	8月4日(水)	8月5日(木)
1 時間目 9:30am～10:30am	漢字クラス オリエンテーション Orientation		漢字クラス Kanji Class		
2 時間目 10:45am～11:45am	Eメールクラス オリエンテーション Orientation		Eメールクラス E-mail Class		
3 時間目 12:45am～1:45pm	発音クラス オリエンテーション Orientation		発音クラス Pronunciation Class		
4 時間目 2:00pm～3:00pm	聴解クラス オリエンテーション Orientation		聴解クラス Listening Class		

詳細を知りたい方、申し込みたい方は、下記の説明会にお越しください。

Please come to the explanatory meeting,

↓↓↓ if you want to know the details or apply to this course. ↓↓↓

●説明会 Explanatory Meeting●

日時 : ①7月7日(水) 1:00pm to 2:00pm ②7月7日(水) 4:30pm to 5:30pm

Date&Time ③7月9日(金) 1:00pm to 2:00pm ④7月9日(金) 4:30pm to 5:30pm

場所 : 文系総合館 7F 702 カンファレンスホール

Place Integrated Research Buildings(Arts and Humanities) 7F 702 Conference Hall

もし、どの回にも来られない場合は、2010japanese@gmail.com(担当:塩瀬博子)までお問い合わせください。

Please email Hiroko SHIOSE at 2010japanese@gmail.com, if you cannot come to any of the explanatory meetings.

クラス紹介 Presentation of Classes

知らない漢字があったとき、どうしますか？
What if you come across unknown Kanji?

●漢字クラス Kanji Class●

※外来語も少し勉強します You will learn some of loanwords

- 漢字の組み立てについて知り、パーツよって漢字ができていることを勉強します。そのパーツを手掛かりに、わからない漢字の読み方や意味が推測できるように練習します。

In this class, you will understand how kanji are made by learning about the process of putting sub-parts together in a kanji. Using these clues, you also will understand how to read the kanji and what they mean.

- 英語を外来語としてカタカナで書くときのルールと、和製英語(「コンセント」など)がわかるように練習します。In addition, you will learn the rule for writing English loan words in Katakana and how to understand Japanese-English words such as コンセント.

- 書道を体験します。You will also have calligraphy experience during this class.

対象レベル：初級-上から中級-中
Intended Level: Novice-high to Intermediate-mid



日本語でEメールを書いてみよう！
Let's write E-mails in Japanese!

●Eメールクラス E-mail Class●

- 日本語のEメールの書き方や、Eメールで使われる様々な表現を勉強します。

You will get to know how to write E-mails in Japanese and use various expressions used in E-mails



- パソコン室のパソコンを使って、実際にEメールをその場で書く練習をします。

You will write E-mails by yourself during the class, (no comma) using computers in the computer room with us.

- 日本語でタイピングができない人は、事前にタイピングの指導をします

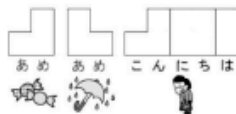
If you do not know how to type in Japanese, we will teach it to you in advance before the class.

対象レベル：中級-下から中級-上
Intended Level: Intermediate-Low to Intermediate-high

日本人のような発音で話してみたいと思いませんか？
Don't you want to speak Japanese with the real accent?

●発音クラス Pronunciation Class●

- AD図(accent diagram)を使って、日本語のアクセントやイントネーションの聞き分け/言い分けができるように練習をします。



You will be able to hear and actually use Japanese accent and intonation appropriately, using the AD (Accent Diagram) chart

- 日本語で話をする場面のロールプレイをします。ロールプレイは録音をし、自分がどんな発音をしているのか、聞いてみます。特に、大学の先生と話す場面の練習をします。You will talk in Japanese while role-playing and you will be recorded so you can check your pronunciation. You will mostly be in situations in which you talk with college teachers.

対象レベル：初級-上から中級-中
Intended Level: Novice-high to Intermediate-mid

日本の情報番組を見てみよう！
Watch an information TV program in Japan

●聴解クラス Listening Class●

- テレビ番組「そうだったのか！池上彰の学べるニュース」を見て、日本や世界の出来事について勉強します。政治、法律、経済、教育、国際関係などの中からいくつかのトピックを取り上げます。



You will study events that happened not only in Japan but worldwide such as politics, law, economics, education and international relations, while watching a TV show called 「そうだったのか！池上彰の学べるニュース」.

- 日本のポップスを1曲歌います。

You will sing one of J-POP songs.

対象レベル：初級-上から中級-上
Intended Level: Novice-high to Intermediate-high

集中日本語コース申込書
Application for Intensive Japanese course

名前: Name	性別: Sex
国籍: Nationality	母語: Native language

メールアドレス: Email address
電話番号: Phone number

所属: Belonging ※できるだけ詳しく: as specific as possible
専門: Major ※できるだけ詳しく: as specific as possible

現在受講している日本語クラス名 Classes you are taking now	母語・日本語以外で学習したことのある言語 Language(s) you have ever learned except your native language/Japanese
---	--

現在までの日本語学習歴と学習していた機関の種類(機関は下から1つ選択) Japanese experience so far and kinds of institution(s) where you have learned Japanese							
例	・	2006年4月	～	2008年3月	2年0カ月	b	()
example	・	September in 2009	～	February in 2010	six months	d	()
	・	_____	～	_____	_____	()	()
	・	_____	～	_____	_____	()	()
	・	_____	～	_____	_____	()	()
	・	_____	～	_____	_____	()	()
a. 母国の中学校、高校 Junior high/high school in your country b. 日本の中学校、高校 Junior high/high school in Japan c. 母国の大学 University in your country d. 日本の大学 University in Japan e. 母国の語学学校 Language school in your country f. 日本の日本語学校 Japanese learning school in Japan g. 独学 Self-learning h. その他→()に機関の種類を記入 The others → Write the institution(s) you have gotten in the parentheses							

過去の日本滞在歴と現在までの滞在期間・滞在目的(目的は下から1つ選択)
 Living experience and living purpose in Japan until now

例・ 2006年4月 ~ 2008年3月 2年0カ月 b ()
 example- July in 2009 ~ August in 2008 three weeks h (teaching training)

・ _____ ~ _____ ()
 ・ _____ ~ _____ ()
 ・ _____ ~ _____ ()
 ・ _____ ~ _____ ()

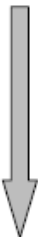
a. 語学留学(大学の留学生センター、日本語学校など)
 Studying abroad for learning language(s) (ex. Center for international students, Japanese learning schools)
 b. 専門(日本語)を学ぶための留学 Studying abroad to learn your major(Japanese)
 c. 専門(日本語以外)を学ぶための留学 Studying abroad to learn your major(except Japanese)
 d. 中学校、高校に留学 Studying abroad at junior high/high school in Japan
 e. 仕事 Work, jobs f. インターンシップ Internship
 g. 旅行 Traveling
 h. その他→()に目的を記入
 The others → Write your purpose down in the parentheses

どのクラスを受けますか？受けるクラスの□にチェック(✓)を書いてください。
 Which classes are you going to take? Please check(✓) off appropriate "□" below.
 チェックしたら、受けるクラスのアンケートに進んでください。
 Please go on the questionnaire for your class next.

<input type="checkbox"/> 漢字クラス Kanji Class	<input type="checkbox"/> Eメールクラス Email Class	<input type="checkbox"/> 発音クラス Pronunciation Class	<input type="checkbox"/> 聴解クラス Listening Class
---	---	---	---



3 ページに
進んでください
Go on page3.



3 ページに
進んでください
Go on page3.



4 ページに
進んでください
Go on page4.



4 ページに
進んでください
Go on page4.

日本語タイピングクラスに参加しますか？ Are you going to take the NIHONGO TYPING CLASS?
 はい Yes いいえ No

どちらの回に参加しますか？ Which Classes are you going to take?
 7月29日(木) 4限(14:45~16:15) 7月29日(木) 5限(16:30~18:00)
 July, 29th (Thrs) 2:45pm~4:15pm July, 29th (Thrs) 4:30pm~6:00pm

●漢字クラス Kanji Class●

1. どうしてこのクラスを受けようと思いましたか。

What makes you decide to choose Kanji class?

()

2. 漢字がわからなくて困るのはどんな時、どんな場所ですか。(複数選択可)

When and where do you feel upset because of lack of Kanji knowledge? (can select more than 2)

- a. レストラン restaurant b. 食堂 cafeteria c. 駅 station
d. 大学内 on campus e. 看板 signboard f. 掲示物 bulletin board
g. 商品の説明書 instruction books for products
h. その他 the others ()

3. わからない漢字があったとき、どうしますか。(複数選択可)

What will you do if you encounter unknown kanji? (can select more than 2)

- a. 辞書やpcで調べる look up in a dictionary or websites on the internet
b. 文脈や部首から意味を推測してみる infer the meaning from the context or radical of the kanji
c. だれかに聞く ask someone
d. 無視する ignore
e. その他 the others ()

●Eメールクラス Email Class●

1. どうしてこのクラスを受けようと思いましたか。

What makes you decide to take Email class?

()

2. 日本語のEメールを書いたり、受け取ったりすることがありますか。

Do you write/get emails in Japanese?

- a. よく書いたり、受け取ったりする both often
b. ときどき書いたり、受け取ったりする both sometimes
c. 受け取るが、書くことはない just get emails
d. 書くことも受け取ることもない neither of both

3. (2でa, b, cと答えた方)誰とEメールのやりとりをしますか。(複数回答可)

(for those who circles a,b or c on question 2) Who do you email with? (can select more than 2)

- a. 先生 teacher b. 日本人の友達 Japanese friends
c. 先輩 senior people(older friends) d. 日本人以外の友達 friends who are not Japanese
e. 事務の人 desk worker f. チューター your tutor
g. その他 the others ()

4. どんなEメールのやりとりをしますか。(複数回答可)

What is the purpose to email? (can select more than two)

- a. アポイントメント appointment b. お礼 your gratitude c. 問い合わせ inquiries
d. お詫び apologies e. 依頼 requests f. お知らせ information/news
g. 資料請求 request of materials h. お誘い invitations
i. その他 the others ()

●発音クラス Pronunciation Class●

1. どうしてこのクラスを受けようと思いましたか。
What makes you decide to take this class?
()
2. 日常生活(日本語の授業以外)で、どのくらいの頻度で日本語を話しますか。
How often do you speak Japanese in daily life(expect during Japanese classes)
 - a. 毎日話す everyday
 - b. 週に数日話す several days
 - c. 1ヶ月に数回話す several times a month
 - d. まったく話さない never
3. どんな発音の指導を受けたことがありますか。(言語・場所を問わず)
What kind of pronunciation instruction have you gotten before? (regardless of languages or places)
 - a. 体系的に学んだことがある I have learned it systematically
 - b. 授業の時間を割いて、多少学んだことがある I have learned it a little during class
 - c. 会話の中で直されたことがある I have been corrected during conversation
 - d. まったくない I have never learned that before.
4. どのくらい母語話者と近い発音で話したいですか。
Which pronunciation levels do you want to acquire?
 - a. ネイティブと同じ発音で話したい as the same as native speaker of Japanese
 - b. できるだけネイティブに近い発音で話したい close as possible as native speaker of Japanese
 - c. コミュニケーションに支障がない程度でよい good enough to be understood while communicating
 - d. 特に希望はない no specific goal for my pronunciation

●聴解クラス Listening Class●

1. どうしてこのクラスを受けようと思いましたか。
What makes you decide to take listening class?
()
2. 日本のテレビを見ますか。
Do you watch Japanese TV programs?
 - a. よく見る often
 - b. とくとき見る sometimes
 - c. 全然見ない never
3. (aまたはbと答えた方)どんな番組を見ますか。(複数回答可)
(for those who circles a or b) what kind of TV programs do you watch? (can select more than two)

a. ドラマ/映画 drama/movie	b. アニメ Japanese anime	c. スポーツ sports
d. ニュース news	e. 音楽番組 music	f. バラエティ comedy
g. 情報番組 information	h. 教育番組 education	i. ドキュメンタリー documentary
j. その他 the others ()		
4. 普段ニュースを見たり、新聞を読んだりしますか。(母語でも日本語でも)
Do you usually watch news and read newspapers? (either native language or Japanese)
 - a. よく見たり読んだりする both of them often
 - b. とくとき見たり読んだりする both of them sometimes
 - c. 全然見たり読んだりしない neither of them
5. (aまたはbと答えた方)どんなニュースに興味がありますか。(複数回答可)
(for those who selects a or b) Which news are you interested in? (can select more than two)

a. 地域・社会 local-society	b. 国際 international news	c. 政治 politics	d. 経済 economy
e. ビジネス business	f. 教育 education	g. スポーツ sports	h. テクノロジー technology
i. 芸能 entertainment			
j. その他 the others ()			

NAGOYA UNIVERSITY INTENSIVE JAPANESE COURSE 2010

2010 年度 名古屋大学 集中日本語コース

期間 Period	2010 年 7 月 30 日(金)~8 月 5 日(木) 午前 9 時 30 分~午後 3 時 July, 30 th (Fri) to August, 5 th (Thurs) 9:30am to 3:00pm
場所 Place	留学生センター 206・207W・301 Education Center for International Students
コース内容 Contents of this course	クラスは以下の4つのクラスがあり、好きなクラスをいくつでも選んで受けることができます。 There are FOUR CLASSES to choose from, and you can attend as many classes as you want.

漢字クラス Kanji Class	Eメールクラス E-mail Class
発音クラス Pronunciation Class	聴解クラス Listening Class

	7月30日(金)	8月2日(月)	8月3日(火)	8月4日(水)	8月5日(木)
漢字クラス Kanji Class 9:30am~10:30am	206 オリエンテーション Orientation	206 塩瀬博子 SHIOSE Hiroko	206 姜 京男 KAN Kyungnami	206 姜 京男 KAN Kyungnami	206 塩瀬博子 SHIOSE Hiroko
Eメールクラス Email Class 10:45am~11:45am	206 オリエンテーション Orientation	206 入江友理 IRIE Yuri	206 姜 京男 KAN Kyungnami	206 入江友理 IRIE Yuri	206 姜 京男 KAN Kyungnami
発音クラス Pronunciation Class 12:45am~1:45pm	301 オリエンテーション Orientation	207W 塩瀬博子 SHIOSE Hiroko	206 今澤ひろ子 IMAZAWA Hiroko	207W 塩瀬博子 SHIOSE Hiroko	206 今澤ひろ子 MAZAWA Hiroko
聴解クラス Listening Class 2:00pm~3:00pm	301 オリエンテーション Orientation	207W 今澤ひろ子 IMAZAWA Hiroko	206 入江友理 RIE Yuri	207W 今澤ひろ子 IMAZAWA Hiroko	206 入江友理 IRIE Yuri

FREE!!

教師は実習生ですので、受講料は必要ありません。
Since we are still trainees, this course is FREE!!

●問い合わせ先 Reference●
塩瀬 博子(Hiroko SHIOSE)
2010japanese@gmail.com

●漢字(カタカナ)クラス● Kanji (Katakana) Class

塩瀬博子(SHIOSE hiroko) 姜 京男(KAN Kyungnami)

時間: 9:30am~10:30am

教室: 留学生センター(Education Center for International Students) 206

●授業の目標 Goal of this class

漢字の組み合わせについて学びます。わからない漢字があったとき、読み方、意味の推測ができるように練習します。外来語をカタカナで書くときのルールを学びます。

You will learn combinations of kanji and practice how to infer the reading and the meaning in case you come across unknown words. You also will learn how to write loanwords in katakana.

●各授業の内容 Contents for this class

<1日目 The first day 担当 Teachers: 姜(Kan)・塩瀬(Shiose)>

・オリエンテーション Orientation

・漢字の話、部首の話

Talk about kanji and radical

・部首カードで漢字ゲーム(たとえば、

木	+	交	=	校
---	---	---	---	---

)

Kanji game with radical cards (ex.

木	+	交	=	校
---	---	---	---	---

)

・カタカナゲーム Katakana game

<2日目 The second day 担当 Teacher: 塩瀬(Shiose)>

・漢字1字の読み方と意味推測

Instruction of reading one character and inferring the meaning

(たとえば、

明	→	日	+	月	→	明	bright !	<table border="1"><tr><td>絵</td><td>→</td><td>糸</td><td>(意味)</td><td>+</td><td>会</td><td>(カイ音)</td></tr></table>)	絵	→	糸	(意味)	+	会	(カイ音)
絵	→	糸	(意味)	+	会	(カイ音)									

)

(ex.

明	→	日	+	月	→	明	bright !	<table border="1"><tr><td>絵</td><td>→</td><td>糸</td><td>(meaning)</td><td>+</td><td>会</td><td>("kai"=sound)</td></tr></table>)	絵	→	糸	(meaning)	+	会	("kai"=sound)
絵	→	糸	(meaning)	+	会	("kai"=sound)									

)

・カタカナを書くときのルール Rule of writing katakana

<3日目 The third day 担当 Teacher: 姜(Kan)>:

・漢字の2字の読み方と意味推測

Instruction of reading two characters and inferring the meaning

・日本で作られたカタカナ語について

Talk about katakana words made in Japan

<4日目 The fourth day 担当 Teacher: 姜(Kan)>

・文の中で漢字での読み方と意味推測の練習

Instruction of reading kanji in sentence(s) and inferring the meaning

・短くされたカタカナ語について勉強

Study about shortened katakana words

<5日目 The fifth day 担当 Teacher: 塩瀬(Shiose)> :

・短い文章の中での漢字の読み方と意味推測の練習

Instruction of reading kanji in short passages and inferring the meanings

・あなたの好きな漢字を筆(brush)で!

Let's write your favorite kanji with brush!

●E メールクラス Email Class●

姜 京男(KAN Kyungnami) 入江友理(IRIE Yuri)

時間:10:45am~11:45am

教室:留学生センター(Education Center for International Students) 206

●授業の目標 Goal of this class

日本語でフォーマルな E メールのやり取りができるように、構成や、使われる表現を学びます。授業はパソコン室で行い、実際に E メールを書いて、その場で教師と Eメールのやり取りをします。

You will learn expressions and compositions used frequently in email, which leads you to be able to communicate in formal ways in Japanese. This class will be held in computer rooms. During this class, you will write emails by yourself and communicate through email with your teacher.

●各授業の内容 Contents of each class

<1 日目 The first day 担当 Teachers:姜(Kan)・入江(irie)>

- ・オリエンテーション Orientation
- ・日本語のフォーマルな Eメールの構成
Composition for writing formal emails in Japanese
- ・授業内での Eメールの送り方 Way of sending emails during class

<2 日目 The second day 担当 Teacher:入江(irie)>

- ・あまり知らない人に初めて送る Eメール
Way of sending emails to people who you do not know very well
- ・ファイルを添付する場合の Eメール
Way of sending emails with files

<3 日目 The third day 担当 Teacher:姜(Kan)>

- ・アポイントメントを取る Eメールとその返信
Way of sending and replying to emails getting appointments

<4 日目 The fourth day 担当 Teacher:入江(irie)>

- ・依頼するときの Eメールとその返信
Way of sending and replying to emails asking requests

<5 日目 The fifth day 担当 Teacher:姜(Kan)>

- ・知りたい情報を求めるときの Eメールとその返信
Way of sending replying to emails asking for giving information you want

●補足事項 Notes

・みなさんが送ってくれたタスクのメールはスクリーンに映してみんなで見ながら、良いところ、悪いところを考えます。

We will see the emails you make as homework with a screen together, and talk about good/bad points in them.

・授業時間内に終わらなかったタスクは、宿題として、その日のうちに送ってもらいます。

Please make sure that you have to complete and send task(s) to your teacher within the day if you cannot finish it during class.

・Web 上のメールアカウントを持っていることが必要です。

You need to have an email account on web for this class.

・日本語のタイピングができない人は、事前に行うタイピングのクラスを受けてください。

If you cannot type Japanese we will open typing class for you, so please take the class, if necessary, in advance.

●発音クラス Pronunciation Class●

今澤ひろ子(IMAZAWA Hiroko) 塩瀬博子(SHIOSE Hiroko)

時間:12:45am~1:45pm

教室:留学生センター(Education Center for International Students) 206・207W・301

●授業の目標 goal for this class

コミュニケーションで誤解が生じないように、日本語母語話者に近い発音を身につけます。アクセント・イントネーションや長さの調節を、わかりやすい図を使って学びます。練習は単語から文まで行い、実際に生かす場面として、先生の研究室を訪ねる場面のロールプレイを行います。

You will acquire Japanese-native-like pronunciation in order to be understood correctly. To do so, you will learn appropriate accent, intonation and length with easy diagram to understand. We will cover from word to sentence during class. You will also do role-play for practicing, and the situation will be mostly when you go to teacher's office.

●各授業の内容 Content of each class

<1日目 The first day 担当 Teachers:今澤(Imazawa)・塩瀬(Shiose)>

・オリエンテーション Orientation

・アクセントの高さ・長さの聞き取りクイズ

Listening quiz for pitch and length

・AD図を使った、高さ・長さの言い分け①(単語)

Using pitch and length appropriately with AD(Accent Diagram)①

<2日目 The second day 担当 Teacher:塩瀬(Shiose)>

・AD図を使った、高さ・長さの言い分け②(文)

Using pitch and length appropriately with AD(Accent Diagram)②

<3日目 The third day 担当 Teacher:今澤(Imazawa)>

・録画①:先生の研究室を訪ねる場面の会話

Recording①:Conversation when you go to teacher's office

・AD図を使った、文の発音練習①

Pronunciation practice in sentences with AD(Accent Diagram)①

<4日目 The fourth day 担当 Teacher:塩瀬(Shiose)>

・AD図を使った、文の発音練習②

Pronunciation practice in sentences with AD(Accent Diagram)②

・先生の研究室を訪ねる時のマナー

Manner when you visit teacher's office

<5日目 The fifth day 担当 Teacher:今澤(Imazawa)>

・録画②:先生の研究室を訪ねる場面の会話

Recording②: Conversation when you go to teacher's office

・Before & After:録画①と録画②の見比べ

Before & After: Comparison between recording①and②

●補足事項 Notes

・人数によっては、ペアを組んで練習することもあります。

You might do pair work, depending on the numbers of students.

・録画した映像は、後日お渡します。

We will give the videos we record for another day.

●聴解クラス Listening Class●

入江友理(IRIE Yuri) 今澤ひろ子(IMAZAWA Hiroko)

時間: 2:00pm~3:00pm

教室: 留学生センター(Education Center for International Students) 206・207W・301

●授業の目標 Goal of this class

日本語のテレビ番組(特にニュース、情報番組)を楽しく見ることを目指します。聞き取れない情報があつたときに、映像やテロップから補えるようにします。また、ニュース・情報番組でよく使われる言葉や表現を勉強します。「そうだったのか!池上彰の学べるニュース」という番組を通じて、日本や世界のニュースについて勉強します。日本のポップス(「明日があるさ」ジョージアで行きましょう編)ウルフルズ)を歌います。

Our goal would be to watch Japanese TV program (especially news and current affairs programs) with enjoy. We will make up with images and telops when you cannot hear some information. We will cover words and expressions used often in news and current affairs programs. You will study news happened in Japan and worldwide, watching a program called 「そうだったのか!池上彰の学べるニュース Sodattanoka! IKEGAMI AKIRA no manaberu NEWS」. You also sing a Japanese pop(「明日があるさ Ashita ga aru sa」ジョージアで行きましょう編 GEORGIA de iki masho hen)ウルフルズ Ulfuls)during class.

●各授業の内容 Content of each class

<1日目 The first day 担当 Teacher: 入江(Irie)・今澤(Imazawa)>

・オリエンテーション Orientation

・「明日があるさ」の歌詞の説明 Explanation of lyrics of「明日があるさ Ashita ga aru sa」

・「そうだったのか!池上彰の学べるニュース」<テーマ1:アイスランドの火山噴火>①

「Sodattanoka! IKEGAMI AKIRA no manaberu NEWS」<Topic 1:Eruption in Iceland>①

<2日目 the second day 担当 Teacher: 今澤(Imazawa)>

・「そうだったのか!池上彰の学べるニュース」<テーマ1:アイスランドの火山噴火>②

「Sodattanoka! IKEGAMI AKIRA no manaberu NEWS」<Topic 2:Eruption in Iceland>②

<3日目 The third day 担当 Teacher: 入江(Irie)>

・「そうだったのか!池上彰の学べるニュース」<テーマ2:EUの成り立ちとギリシャの経済危機>

・「Sodattanoka! IKEGAMI AKIRA no manaberu NEWS」<Topic 2:History of EU and economic crisis in Greece>

<4日目 The fourth day 担当 Teacher: 今澤(Imazawa)>

・「そうだったのか!池上彰の学べるニュース」<テーマ3:韓国と北朝鮮の関係と外交政策>

・「Sodattanoka! IKEGAMI AKIRA no manaberu NEWS」<Topic 3:Relationship and foreign policy between South Korea and North Korea>

<5日目 The fifth day 担当 Teacher: 入江(Irie)>

・「そうだったのか!池上彰の学べるニュース」<テーマ4:2010年7月参議院選挙>

・「Sodattanoka! IKEGAMI AKIRA no manaberu NEWS」<Topic 4:The House of Representatives election on July in 2010>

●補足事項 Notes

・テーマはみなさんの興味によって、変更する場合があります。

The topic might be changed depending on your interests.

・新しいテーマを見る前の日に、語彙リストを渡します。授業に不安のある場合は、予習として語彙リストを見てきてください。

We will give you vocabulary list the day before we move on a new topic. Please look through it in advance if necessary.

・歌は毎回の授業の最初の時間にみんなで歌います。

We will sing the song all together at the beginning of the every class.

Web ページは杉村泰先生に依頼し、専攻の Web サイトにアップしていただいた。

なお、報告書作成を視野に入れ、実習準備段階から毎回ミーティング内容を簡単にまとめ、鷺見先生が作成してくださった名古屋大学実習 ML で送付するようにした。このため、報告書作成が滞りなく進んだと思う。

(担当 今澤ひろ子)

第3章 事前調査

3.1 学習者プロフィール

事前調査としてアンケートを作成した¹⁴。参加申込書にアンケートを添付し、コース申し込みの際に記入してもらった。実習参加者のプロフィールを以下の表に示す。

■ 所属

所属	人数	所属	人数
法学研究科	13名	国際言語文化研究科 ¹⁵	1名
法学部	3名	教育学部	1名
国際開発研究科	2名	経済学部	1名
ECIS	3名	工学部	1名
NUPACE ¹⁶	2名	理学部	1名
教育学研究科	1名		

実習プログラムの宣伝はあまり広く行わなかったが、ポスター・申込者からの紹介で来たという人も多く、学習者の所属は多岐に渡った¹⁷。

法学研究科の留学生が多いのは、英語コースが設置されているためだと考えられる。大学内の授業・レポートなどでは英語を用いるため、日本語学習に時間を割く割合が少ないが、日常生活では日本語が必要になるため、夏休みを利用した集中コースに集まったと思われる。また、MLで流し、多くの人に情報提供できたことも一因だと思われる。

■ 国籍

国籍	人数	国籍	人数
中国・台湾	9名	カンボジア	1名
インドネシア	5名	タイ	1名
ウズベキスタン	3名	パラグアイ	1名
ベトナム	2名	ブラジル	1名
アルメニア	1名	ポーランド	1名
イギリス	1名	モンゴル	1名
韓国	1名	モザンビーク	1名

¹⁴ アンケートには英語訳をつけた。詳しくは2.4 文書作成を参照。

¹⁵ 国際言語文化研究科所属の留学生は、研究生であった。

¹⁶ NUPACE とは、名古屋大学が行っている短期交換留学生受け入れプログラムのことである。

¹⁷ 学習者募集の方法については2.1 学習者募集を参照。

国籍も多岐に渡った。中国・台湾の学習者が多いのは、大学全体の留学生の割合が影響していると思われる。

■現在受講している日本語クラスのレベル

クラス名	人数	クラス名	人数
上級	1名	初級Ⅱ	3名
中上級	6名	初級Ⅰ	1名
中級Ⅱ	2名	個々の授業	2名
中級Ⅰ	3名	なし	6名
初中級	3名	不明	2名

今回実習で開講したクラスは全てプレースメントテストなどのレベル調整を行わず、学習者本人が受講を希望すればどのクラスでも受講できるようにした。そのため、レベルも上級から初級Ⅰまでばらつきがある。アンケート調査では、現在受講している日本語クラスを調査し、名古屋大学留学生センターが公開している日本語クラスレベルに基づいてレベルを判断した。

実習を計画する際、主に初級日本語特別プログラム修了の学習者（初級終了レベル）を対象とを考えていたが、実際に集まった学習者に初級日本語特別プログラム修了生は少なく、全学日本語プログラム中級以上の学習者が多かった。

■母語・日本語以外の学習言語

言語	人数	言語	人数
英語のみ	19名	2ヶ国語（英語を含まない）	1名
英語・その他1ヶ国語	5名	不明	1名
英語・その他2ヶ国語	3名		

媒介語の使用や発音クラスでの指導を考え、日本語以外の学習歴も調査した。英語を含まない2ヶ国語と答えた学習者はイギリス人で、母語は英語であるため、全体で英語未習の学習者は1人だけであった。

■日本語学習歴

学習機関	人数	学習機関	人数
日本の大学	19名	独学	2名
母国の大学	7名	その他	1名
母国の日本語学校	6名	不明	2名

学習期間	人数	学習期間	人数
半年未満	9名	2年以上3年未満	1名

半年以上1年未満	3名	3年以上4年未満	3名
1年以上2年未満	10名	4年以上	3名

過去の日本語学習についても調査した。日本の大学で半年未満学習したという学習者が多かった。珍しい機関では、日本領事館で勉強したという学習者もいた。学習期間もさまざまにレベル差が激しいことがわかる。

3.2 アンケート

3.2.1 漢字クラス

漢字クラスでは以下の3点を調査した。

- ① 受講動機
- ② 漢字が分からず困る場面
- ③ 漢字が分からず困ったときのストラテジー

漢字については、必要だが難しいと感じ受講を希望する学習者が多かった。漢字圏出身の学習者も母国と日本の漢字の違いに苦しんでいるようで、受講希望者が多かった。

漢字に困る場面は、学内の掲示物から学外のレストランまで多岐に渡った。

漢字クラスでは、分からない漢字に出くわした時のストラテジーとして、部首などから意味を推測できるようになることを目標とした。そのため、漢字で困ったときに普段行っているストラテジーも調査した。

以下に簡単に調査結果をまとめる。

- (1) どうしてこのクラスを受けようと思われましたか。(自由記述)

必要・大切だから
漢字を身につけたい
日本語の漢字の読み方はよくわからない
漢字の書き方を勉強したい
とても難しいから

- (2) 漢字が分からなくて困るのはどんなとき、どんな場所ですか。(選択式・複数回答可)

レストラン	11名
食堂	8名
駅	7名
大学内	11名

看板	11名
掲示物	16名
商品の説明書	14名
その他	6名

その他の回答：インターネット、スーパー、映画の字幕、本、雑誌

(3) わからない漢字があったとき、どうしますか。(選択式・複数回答可)

辞書やPCで調べる	17名
文脈や部首から意味を推測してみる	10名
だれかに聞く	13名
無視する	8名
その他	1名

その他の回答：電子辞書

3.2.2 Eメールクラス

Eメールクラスでは、以下の4点を調査した。

- ① 受講動機
- ② 日本語でのEメール使用の頻度
- ③ 日本語でのEメールの相手
- ④ 日本語でのEメールの内容

「必要だから」「役に立つから」という受講動機が多かった。日常生活の中で、Eメールを受け取るだけでなく送る機会も多いようで、特に送ることに困難を感じている受講希望者が多かった。

日本語でのEメールは、やはり先生や日本人の友達ともっとも多くやり取りをしていることがわかった。

以下に簡単に調査結果をまとめる。

(1) どうしてこのクラスを受けようと思いましたか(自由記述)

日本のEメールの書き方がわからない
正しい書き方を学びたい
大切、役に立つと思うから
コミュニケーション能力を向上させたいから
日本人の先生やクラスメートに日本語で返事を

書きたいから
よく問題があったから

- (2) 日本の E メールを書いたり、受け取ったりすることがありますか。(選択式・複数回答可)

よく書いたり、受け取ったりする	11 名
ときどき書いたり、受け取ったりする	12 名
受け取るが、書くことはない	2 名
書くことも受け取ることもない	0 名

- (3) 誰と Eメールのやりとりをしますか。(選択式・複数回答可)

先生	16 名
日本人の友達	16 名
先輩	9 名
日本人以外の友達	6 名
事務の人	7 名
チューター	9 名
その他	2 名

その他の回答：会社の人、ホストファミリー

- (4) どんな Eメールのやりとりをしますか。(選択式・複数回答可)

アポイントメント	14 名
お礼	12 名
問い合わせ	13 名
お詫び	4 名
依頼	10 名
お知らせ	14 名
資料請求	10 名
お誘い	6 名
その他	2 名

その他の回答：日常会話、チャット

3.2.3 発音クラス

発音クラスでは、以下の 4 点を調査した。

- ① 受講動機

- ② 日常生活で日本語を使う頻度
- ③ 発音指導を受けた経験の有無
- ④ 自らに期待する発音レベル

「日本人のような発音で話したい」という受講希望者が大半であった。

また、日常生活で日本語を使う頻度も、毎日日本語で話す人から1ヶ月に数回程度の人まで多様であった。

発音指導の経験は、授業時間を割いて多少学んだという人と、会話の中で指摘された程度という人が半々であった。体系的に学んだことがあると答えた学習者が2人おり、予想外の結果であった。1人は日本語学習歴が6年以上もあり、かなり体系的に学んだと予想される。もう1人は名古屋大学初級日本語特別プログラムで学習したようである。

また、授業内の指導方針の参考にするため、どの程度の指導を期待するのか学習者に調査した。できるだけネイティブに近い発音で話したいという学習者が大半であった。コミュニケーションに支障がない程度でよいという学習者も数人いたが、日常生活で日本語を使う頻度が比較的に少ないとのことだった。

以下に簡単に調査結果をまとめる。

- (1) どうしてこのクラスを受けようと思いましたか。(自由記述)

いつものクラスで習わないから
きれいな発音を身に付けたい
ときどき日本語の言葉が発音できないから
日本語の発音を向上させたい
難しいから
発音が分かりにくいと言われたことがあるから
日本人のように発音したい
アクセントに問題があるから

- (2) 日常生活（日本語の授業以外）で、どのくらいの頻度で日本語を話しますか。(選択式)

毎日話す	10名
週に数日話す	6名
1ヶ月に数回話す	3名
まったく話さない	0名

- (3) どんな発音の指導を受けたことがありますか（言語・場所を問わず）。(選択式)

体系的に学んだことがある	2名
授業の時間を割いて、多少学んだことがある	11名

会話の中で直されたことがある	6名
まったくない	1名

(4) どのくらい母語話者と近い発音で話したいですか。(選択式)

ネイティブと同じ発音で話したい	7名
できるだけネイティブに近い発音で話したい	10名
コミュニケーションに支障がない程度でよい	3名
特に希望はない	0名

3.2.4 聴解クラス

聴解クラスでは、事前調査として以下の5点をアンケートにて調査した

- ① 受講動機
- ② 日本でのテレビ視聴の頻度
- ③ 日本で見るテレビ番組のジャンル
- ④ ニュース・新聞に触れる頻度
- ⑤ 興味のあるニュース

聴解能力に問題を感じている受講希望者と、日本のテレビ番組などに対する興味から受講を希望する学習者が多かった。

ニュースの興味は、授業内で取り上げるテーマ決定の参考にするために調査した。国際問題や政治・経済に興味が集まっており、法学研究科の学生が半数近くを占めていることが関係すると考えられる。

以下に簡単に調査結果をまとめる。

(1) どうしてこのクラスを受けようと思いましたか。(自由記述)

聴解は重要だと思うから
毎日テレビを見ても全然分からないから
今聴解の能力はあまりよくないと思うから
ドラマが好きだから
聴解が非常に悪い、改善したい
テロップを読んでも分からないことが多いから
テレビやラジオを聞けるようになりたい

- (2) 日本のテレビを見ますか。(選択式)

よく見る	4名
ときどき見る	20名
全然見ない	1名

- (3) どんな番組をみますか。(選択式・複数回答可)

ドラマ／映画	16名
アニメ	7名
スポーツ	10名
ニュース	11名
音楽番組	7名
バラエティ	3名
情報番組	3名
教育番組	5名
ドキュメンタリー	1名
その他	1名

その他の回答：コマーシャル

- (4) 普段ニュースを見たり、新聞を読んだりしますか(母語でも日本語でも)。(選択式)

よく見たり読んだりする	5名
ときどき見たり読んだりする	17名
全然見たり読んだりしない	6名

- (5) どんなニュースに興味がありますか。(選択式・複数回答可)

地域・社会	10名
国際	15名
政治	14名
経済	11名
ビジネス	2名
教育	7名
スポーツ	9名
テクノロジー	4名
芸能	13名
その他	0名

(担当 今澤ひろ子)

第4章 クラス概要

4.1 漢字クラス

4.1.1 クラス目標

漢字クラスの主な目標は次の3点である。

- ・ 漢字の組み合わせについて学び、未知語の読み方や意味の推測ができるようになる。
- ・ カタカナ語について表記、和製カタカナ語¹⁸、カタカナ略語¹⁹等を学ぶ。
- ・ 書道を体験することにより日本の文化を知る。

漢字の読み方や意味の推測のために何に注目すればいいのかという観点から、学習者が手掛かりを知るということを目標とし、授業内容を考えた。後半の授業では、学生から日頃目にするものや読みたいと思ったものを提供してもらい、それらを教材にすることとした。

4.1.2 シラバス

<1日目 担当：姜京男・塩瀬博子>

- ・ オリエンテーション
- ・ 漢字の話（象形文字）
- ・ 部首の説明
- ・ 漢字組み合わせゲーム

<2日目 担当：姜京男>

- ・ 部首の組み合わせの理解
- ・ 部首の種類
- ・ 意味の推測
- ・ カタカナゲーム（表記）

<3日目 担当：姜京男 >

- ・ 復習
- ・ 漢字の読み方
- ・ カタカナゲーム（和製カタカナ語）

<4日目 担当：塩瀬博子>

- ・ 復習
- ・ 一文の中での漢字の読みと意味推測
- ・ 文意を取る練習（タスク活動）

¹⁸ 日本で作られたカタカナ語（例：ハッピーエンド、シュークリームなど）

¹⁹ 短縮されたカタカナ語（例：コピペ、ブログなど）

- ・ カタカナゲーム (カタカナ略語)
- <5 日目 担当：塩瀬博子>
- ・ 短文の中での漢字の意味と推測
 - ・ 書道の体験

4.1.3 作成した教材

漢字クラスでは、漢字の読みや意味の推測に手掛かりを得るために、主に部首の種類とその組み合わせに関するプリントを作成・配布した。また漢字入りの文章読解では、実習担当者と学習者から提供された読み教材を使用した。実習担当者からの教材は導入用とし、学習者からの教材はタスク用とした。

作成した教材は以下の7点である。

- ① 漢字組み合わせゲームシート
- ② 会意文字組み合わせ記入シート
- ③ 部首の種類²⁰ と漢字作成シート
- ④ 部首が共通した漢字の分類シート
- ⑤ 単漢字からの単語作りシート
- ⑥ 同じ読み方の形声文字分類記入シート
- ⑦ 同じ読み方をする形声文字記入シート (「せい」・「こう」・「ほう」)
- ⑧ 看板・広告文写真教材----導入用 (実習生提供)
----タスク用 (学生提供)
- ⑨ 書道体験用ガイドシート

ここでは、作成した教材を①②③④⑦⑧⑨の順に載せる。また⑦についてはその一部を載せる。

²⁰ ここでは、部首が独立した漢字となっているもの (「駅」の馬偏や「語」の言偏など)、部首が独立した漢字となっていないもの (「海」のさんずいや「探」の手偏など) の2種を指す。

組み合わせ漢字を作りましょう 2010/7/30

名前

イ						且	首	会
木	林					木	本	作
糸						寸	交	斤
日						每	吾	生
シ						寺	舌	青
言						酉	翟	可
之						周	角	壳

a b c

2010年度名古屋大学教員日本語コース
漢字クラス (題名: カン)

かんじ く あ
漢字の組み合わせ
たくさんつくってみよう♪

明

2010年度名古屋大学教員日本語コース
漢字クラス (題名: カン) 3

部首の話

イ <small>ぎょうにんべん</small> gyo-nin-ben	子 <small>こへん</small> ko-ben	彳 <small>ちんず</small> chin-zu	矢 <small>やへん</small> ya-ben
土 <small>つちへん</small> tsuchi-ben	禾 <small>こへん</small> ko-ben	扌 <small>てへん</small> te-ben	金 <small>かねへん</small> kane-ben
宀 <small>まゝだ</small> ma-dare	木 <small>きへん</small> ki-ben	馬 <small>うまへん</small> uma-ben	月 <small>つきへん</small> tsuki-ben
冫 <small>ひょうめん</small> hyou-men	方 <small>かたへん</small> kata-ben	米 <small>こめへん</small> kome-ben	儿 <small>にんご</small> nin-go
イ <small>いへん</small> i-ben	弓 <small>ゆみへん</small> yumi-ben	冫 <small>りゅうへん</small> ryuu-ben	疒 <small>やまいだ</small> yamai-dare
車 <small>くるまへん</small> kuruma-ben	辶 <small>しんぎやう</small> shin-gyau	火 <small>かへん</small> ka-ben	貝 <small>かい</small> kai
	穴 <small>あなかんむり</small> ana-kannuri	糸 <small>いとへん</small> ito-ben	艹 <small>くさかんむり</small> kusa-kannuri

Radical that are independent Kanji				Radical that are not independent Kanji			
車				儿			

2010年度名古屋大学教員日本語コース
漢字クラス (題名: カン)

部首の話

送 持 行
週 病 運
返 後 押
持 扌 待
招 痛 復
速 疲


イ いへん
i-ben

辶 しんぎやう
shin-gyau

扌 てへん
te-ben


疒 やまいだ
yamai-dare

4.1.4 授業内容

7月30日 漢字クラス 1回目 オリエンテーション	担当：姜京男・塩瀬博子
到達目標 ・漢字の成り立ちや組み立ての知識を得る	
学習項目 ・部首を知る ・ゲームを通して漢字の組み合わせを理解する	

テーマ	活動
自己紹介 《担当：姜》	●学生の名前・国籍、所属など簡単な自己紹介（以下教師はT、学生はSとする）
漢字の話 象形文字	●Tがパワーポイントを見せる ・象形文字を取り上げ、絵から文字を推測させる ・Tはクイズ形式で質問する
部首の説明	●Tがパワーポイントを見せる ・絵から部首を推測させる ・Tはクイズ形式で質問する
漢字組み合わせ ゲーム 《担当：塩瀬》	● ゲームの紹介と説明 ・グループ分け…6人ずつで6グループ ・Sは相談しながら、部首のシートをもとに、組み合わせ漢字を作る ・Sによる発表


反省
漢字と部首、どちらも絵から推測させたが、部首は絵から説明しても難しいようでクイズを出す前にもう少し詳しく説明したほうがよかったと思った。グループ分けに際しては、漢字圏出身者の多いグループとそうではないグループに偏りがあり、グループ分けを行う際はその点に注意が必要だと思った。ゲームは2種準備していたが、時間配分への考慮が十分ではなかったため、初めのゲームに時間がかかり後の方ができなくなってしまった。

8 月 2 日	漢字クラス 2 回目	担当： 姜京男
到達目標 漢字の構成を理解する ・ 部首の意味を知る		
学習項目 ・ 会意文字の組み合わせから漢字の構造を知る ・ 部首の分類を知る ・ カルタ形式のカタカナゲーム		

テーマ	活 動
漢字の構造を知 る 《担当：姜》	<ul style="list-style-type: none"> ●会意文字の理解 ・ 日+月=明のように部首の組み合わせから成ることを知る ・ 部首カードでゲームを行う ・ 3つのグループになり、各グループのリーダーを決める ・ カードとシートをリーダーは受け取る ・ 5分間各グループは部首カードを組み合わせでできるだけ多くの漢字を作る ・ リーダーはシートに記入する ・ 5分後、各グループで作った漢字をリーダーがリレー形式で黒板に書く
部首の種類	<ul style="list-style-type: none"> ●部首の中で、単独で漢字になるものと漢字にならないものを理解する ・ 漢字になるもの→例：「語」の言扁、「駅」の馬扁 漢字にならないもの→例：「海」のさんずい、「探」の手扁 ・ 10分間タスクシートに取り組む ・ 漢字にならない部首の意味をパワーポイントを見ながら理解する (パワーポイントでは、絵を用いて部首の由来を説明する)
意味の推測	<ul style="list-style-type: none"> ●部首から意味を推測する ・ Sは部首を共通している漢字を分けるタスクに取り組む ・ 部首の意味から漢字の意味を推測してみる
カタカナ 《担当：塩瀬》	<ul style="list-style-type: none"> ●カルタ形式でカタカナゲームを行う

反 省

漢字の構成を理解してもらうために、前半では会意文字の成り立ちに焦点を当ててタスクを作成した。ゲーム形式にすることにより、学習者にできるだけ負担が少なく、理解しやすいように心がけたが、学習者の母語による影響も大きく理解度にばらつきが生じたと思う。しかし、グループワークで行ったため、学習者同士が自ら助け合いながらタスクを進めていた点はよかったと思う。部首の種類の中で、漢字にならない部首の由来を絵から説明したところ、大変興味を持って楽しくタスクに取り組んでいたようであったが、実際、漢字の意味推測には、部首から推測しきれない場合も多々あるため、学習者がいかに推測の手がかりをつかめるかをもっと考えればならないと思った。

8 月 3 日	漢字クラス 3 回目	担当： 姜京男
到達目標 <ul style="list-style-type: none"> ・ 漢字の構成を理解する ・ 読み方を推測する 		
学習項目 <ul style="list-style-type: none"> ・ 部首の読み方を組み合わせた読み方の推測 ・ 読み方が共通する漢字を通した読み方の推測 ・ クイズ形式の和製カタカナ語 		

テーマ	活 動
復習 ≪担当：姜≫ 漢字の読み方	<ul style="list-style-type: none"> ●前回の復習 <ul style="list-style-type: none"> ・ 部首の組み合わせから単語を作る ・ 部首の意味から単語の意味を推測する ●タスク① <ul style="list-style-type: none"> ・ 単漢字とその読み方が書かれたシートにできるだけ多くの単語を作って単語と読み方を書く ・ ペアで話し合いながらさらに書く ・ 一人ずつ、作った単語を読んでもらう ●タスク② <ul style="list-style-type: none"> ・ 単漢字のみ書かれたシートに、同じ読み方の漢字を探して書く ・ ペアになって話し合いながらさらに書く ・ 3つのグループになって各グループは「せい」「こう」「ほう」のどれか1つを担当し、シートにできるだけたくさん書く


カタカナ 《担当：塩瀬》	<ul style="list-style-type: none"> ・各グループのリーダーは黒板に担当した読み方の漢字をできるだけ沢山書く ●和製カタカナ語のクイズを行う
-----------------	--

反 省
<p>今回は漢字の読み方の推測に焦点を当てた。タスク①では、会意文字を取り上げ、部首を組み合わせて単漢字を作る練習を行った。単漢字も部首の組み合わせで成り立っていることを理解してもらおうと試みたが、少し難しかったようで、部首を組み合わせて非漢字を作る学生もいた。</p> <p>同じ読み方を探すタスク②では、辞書使用も可にしたが、指示の仕方が不明確で学習者が戸惑ったと思う。できるだけ多くの漢字を集めることは、学習者の母語によっては少し難しく感じる学習者がいたので、どの学習者にも漢字の読み方の推測に手助けになる方法をもっと考えなければならないと思った。</p>

8月 4日	漢字クラス	4回目	担当：塩瀬博子
到達目標 <ul style="list-style-type: none"> ・読みたいと思った広告や看板などの文（メールなどで提出されたもの）中の漢字の読みと意味を推測できる ・知らない漢字を推測し、一文の意味を理解できる。 			NO IMAGE
学習項目 <ul style="list-style-type: none"> ・学習者及び担当者から提供された広告・看板文等の文章中の漢字を読む ・漢字から文意を取る ・カタカナはクイズ形式でカタカナ略語を知る 			

テーマ	活動
復習と導入 《担当：塩瀬》 クラス全体での 読み練習 グループワーク カタカナ 《担当：姜》	●前回の復習「工」---コウと「青」---セイ ・「工」の文字で導入 ●Sは「工」を使用した素材の文と「青」（精算機）の入った文で、漢字の読みと文意を考える。 ●タスク ・3つのグループに分かれ（レベルは自選とする）、教材を選ぶ ・漢字→文意へのグループワーク ・代表者による発表 ●カタカナ略語のクイズを行う

反省
<p>学習者の漢字レベルが様々だったため、悩んだ末、レベル別にチームを分け、どこに入るのかを選んでもらった。第4日目目標は「一文の中で漢字の読みと意味を推測する」であったが、グループワークの時に提供された複数の教材をすべて配ってしまった。教材は様々で上級のものも混じっていたので、レベルごとにこちらで選んで配布することが必要だった。特に第四日目は「一文」と予定していたので、不適切であったと反省している。</p> <p>また意図の分からないような質問や確認をすることがしばしばあったようである。何を聞かれているのかわからず、学生は困っていたかと思う。今後はどのような目的で質問をするのか、どんな場合にどんな質問をすべきか、また理解されなかった時の対応など、自身への課題としたい。</p>

8月5日 漢字クラス 5回目	担当：塩瀬博子
到達目標 <ul style="list-style-type: none"> 短文の中の漢字の意味と読み方を推測し文意が取れる 書道を体験して、日本文化を知る 	
学習項目 <ul style="list-style-type: none"> グループで、様々なストラテジーを用いて提出された文章素材を読み取る。(漢字→文意 または文意→漢字の類推) 書きたい・好きな漢字、または漢字入り文(4文字まで)を毛筆で書く 	

テーマ	活動
文を読む	<ul style="list-style-type: none"> ●Sは漢字から文意、または文から漢字の読みや意味を推測する ・グループで教材を選び、各自読める漢字と読めない漢字を識別する ・話し合いをしながら、様々な方法を使って読む ・代表者による発表
書道	<ul style="list-style-type: none"> ●書道体験 ・配られた書道道具の名前や使い方の説明を聞く ・書きたい漢字を毛筆で書く

反省
<p>60分で二つの作業をするには時間が足りず、大幅に遅れてしまった。学生、他の実習生に迷惑をかけてしまい、反省している。活動の前に、昨日あった質問の説明補足をしたことと、タスク後の代表者による説明に時間が取られ、さらに書道道具類の配布にも時間がかかってしまった。(道具類をすべて包装紙から出しておくべきだった)</p> <p>書道時に全体に手本を示したかったが、時間不足のためいきなり書いてもらう結果となった。そのため、机間巡視中に姿勢や筆の持ち方などの注意・説明補足をした。</p> <p>また時間があればフィードバックとして、書いたものを全員に見せ、学生に書いた漢字の意味や選んだ理由などを発表してもらいたかったが、できなくて残念であった。しかし、彼らが楽しそうに書いていたことが、唯一の救いであった。</p>

4.1.5 漢字クラス全体の反省

学習者に漢字の読み方の推測について手助けになることを目指した。学習者はタスクに興味を持って取り組み、自ら助け合いながら取り組んでいた。しかし、学習者の母語による理解度の違いや、漢字の意味推測には部首のみでは推測されない場合もあるため、学習者にどのくらいの手掛かりを提供できたのか測りかねている部分もある。また、文意を取るには様々な戦略があるため、後半の授業が前半の学習の応用になっていたのか(辞書を手に入れている学生が多く見られた)、もう少し方法を絞り込んで取り組んでもらった方がよかったのかもしれないと思った。書道体験では特に非漢字圏の学生が、興味を持って楽しそうに体験する姿が見られた。

この授業が少しでも漢字に対する関心を深めるきっかけとなっていれば、と願う。

4.2 E メールクラス

4.2.1 クラス目標

E メールクラスの目標は日本語でフォーマルな E メールのやり取りができるようになること

である。そのため、学習者が日常生活の中で出くわす可能性の高い場面を設定し、Eメールの構成やよく使われる表現、相手に失礼のないような返信の出し方、Eメールのマナーなどを学べるような授業を行った。授業は一人一台ノートPCを用いて、実際にEメールを書き、その場で教師とやり取りをした。Eメールクラスの受講を希望する人で日本語のタイピングができない人は、タイピングクラスを受講するよう求めた。

4.2.2 シラバス

<タイピングクラス²¹ 担当：入江友理>

- ・ 日本語のタイピング
- ・ ひらがなの入力
- ・ カタカナと漢字の変換
- ・ 簡単な自己紹介の入力

<1日目 担当：姜京男>

- ・ オリエンテーション
- ・ 日本語のフォーマルなEメールの構成
- ・ Eメールのマナー

<2日目 担当：入江友理>

- ・ あまり知らない人に初めて送るEメール
- ・ ファイルの添付
- ・ 適切な返信の仕方

<3日目 担当：入江友理>

- ・ アポイントを取るためのEメール
- ・ 適切な返信の仕方

<4日目 担当：姜京男>

- ・ 依頼するときのEメール
- ・ 相手に丁寧に返信を求める方

<5日目 担当：姜京男>

- ・ 知りたい情報を求めるときのEメール
- ・ 適切な返信の仕方

4.2.3 作成した教材

Eメールクラスの教材としては、2回目、3回目、4回目、5回目の授業と、タイピングクラスの授業のためのパワーポイントを作成した。

その一部として、以下に2回目の授業の学習者用配布資料を提示する。

²¹ タイピングクラスは、コースが始まる前日の7月29日に行った。

Eメールクラス Email Class

10:45~11:45

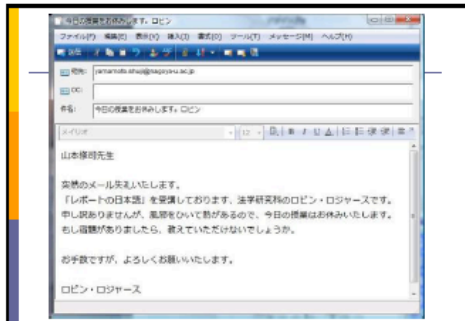
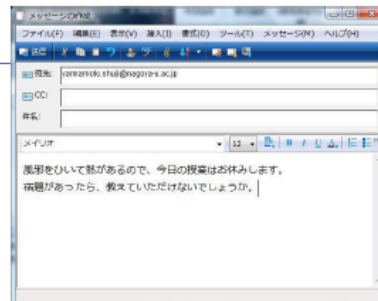
入江友理 (いりえ ゆり)

今日のテーマ

- ファイルを添付する場合のメール
 - Way of sending emails with files
- あまり知らない人にはじめて送るメール
 - Way of sending emails to people who you do not know very well, and you send email to for the first time

はじめてメールをおくるとき

あなたは『レポートの日本語』という授業を受けていますが、今日は熱があって、授業にいきそうにありません。
授業を休むことを山本先生にメールします。
山本先生のアドレスは知っていますが、今まで山本先生にメールをおくったことはありません。



授業と名前の書き方

突然のメール失礼いたします。

「レポートの日本語」を受講しております、
法学研究科のロビン・ロジャースです。
申し訳ありませんが、風邪をひいて熱があるので、
今日の授業はお休みいたします。
もし宿題がありましたら、教えていただけないでしょうか。
お手数ですが、よろしくお願いたします。

「突然のメール、失礼いたします」
 ※はじめてメールを送る人に使います

「突然のメール、失礼いたします」
 ※はじめてメールを送る人に使います

「突然のメール、失礼いたします」
 ※はじめてメールを送る人に使います

授業と名前の書き方

突然のメール失礼いたします。
 「レポートの日本語」を受講しております。
 法学研究科のロビン・ロジャースです。
 申し訳ありませんが、風邪をひいて熱があるので、
 今日の授業はお休みいたします。
 もし宿題がありましたら、教えていただけないでしょうか。
 お手数ですが、よろしくお願いいたします。

所属(Affiliation)を書くとき

□ あいての所属をかながえて書きましょう
 □ 例えば:
 名古屋大学／国際開発研究科／国際開発専攻／MC1年／田中友子

- 他の大学の人
 - 「名古屋大学の田中友子です」
- 他の研究科の人
 - 「国際開発研究科MC1年の田中友子です」
- 他の専攻の人
 - 「国際開発専攻MC1年の田中友子です」

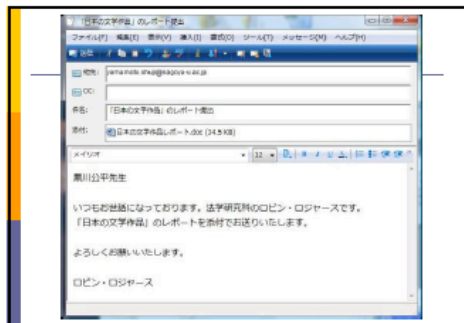
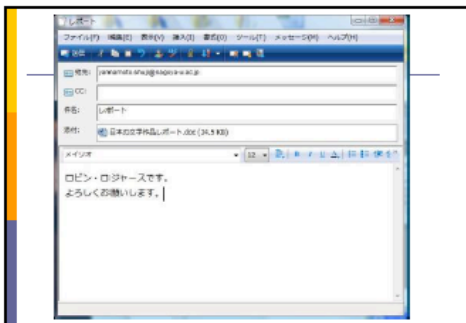
ことば: 添付

- 添付ファイル an attachment
- メールにファイルを添付する
to attach a file to email



ファイルを添付しておくとき

あなたは『日本の文学作品』という授業の期末レポートを黒川先生におくりたいです。
先生は、「レポートはWordファイルでつくって、メールに添付しておくてください」といいました。
レポートを添付して、メールをおくります。
黒川先生とは、いつもメールでやりとりをしています。



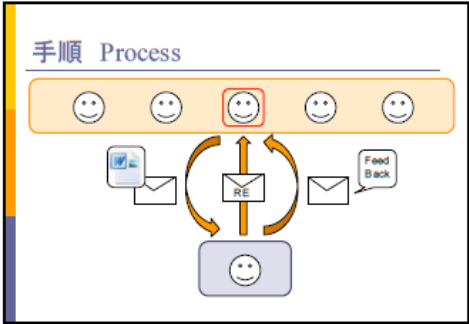
ファイルを添付したときは

- ファイルを添付したことを、かならず書きましょう
 - 「OOを添付してお送りいたします。」
 - 「OOを添付いたしましたので、ご確認ください」
- どんなファイルを添付したか、くわしく書きましょう
 - レポート → OOのレポート
 - ミーティングメモ → O月O日のミーティングメモ
OOミーティングのメモ

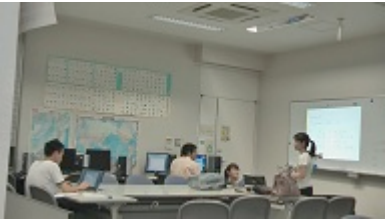
練習 Practice

あなたは頭が痛いので、授業を休むことにしました。
先生に授業を休むことをメールします。
それから、今日は宿題があったので、それを添付しておくりたいです。
先生には今までメールをおくったことはありません。

- 授業の名前、先生の名前は、自分で決めてください。
- 添付するファイルも、つくってください



4.2.4 授業内容


7月29日 タイピングクラス	担当 入江友理
到達目標 ・日本語のタイピングができる	
学習項目 ひらがな（清音、濁音、半濁音、拗音）の入力 ・カタカナ変換 ・漢字変換 ・簡単な自己紹介の入力	

テーマ	活動
清音	<ul style="list-style-type: none"> ●言語バーの設定 ●清音の入力（「ん」も入れる） 1) ローマ字を併記した五十音図を配る 2) 日本語の入力は、ローマ字で入力することを説明 3) まずは、五十音の入力を練習する 例) 「あいうえお」「かきくけこ」「さしすせそ」「たちつとと」 「なにぬねの」「はひふへほ」「まみむめも」「やゆよ」「らりるれろ」「わをん」 4) 入力練習 例) むし、つくえ、いもうと、おとうさん 問題) 2文字 すし・ほん・いろ 3文字 わたし・きのう・にほん 4文字 せんせい・おとうと・ちかてつ 5文字 こんにちは・せんたくき・なつやすみ
濁音	<ul style="list-style-type: none"> ●濁音・半濁音の入力 1) 濁音・半濁音の部分の五十音図を配る 2) 濁音・半濁音は別のアルファベットを用いることを説明 3) 入力練習 例) ぞう・でんわ・えんぴつ・どうぶつえん 問題) 2文字 かぎ・ちず・じむ・つぎ 3文字 じかん・ぶんか・そうじ・ごはん 4文字 がいこく・にんげん・にほんご・ぶんぼう 5文字 けいじばん・ありがとう
拗音	<ul style="list-style-type: none"> ●拗音の入力 1) 拗音の部分の五十音図を配る 2) 拗音は子音のアルファベットの後に Y を入れることを説明（例外あり）

<p>「っ」「ー」 カタカナ</p>	<p>3) 入力練習 例) かいしゃ・りゅうがく・りょうり・きょうかしよ 問題) 1つ きょう・しゃしん・おちゃ・ちゃいろ・びょういん・にゅうがく 2つ じゅぎょう・じゅうしょ・ぎゅうにゅう・きょうじゅ</p> <p>●「っ」「ー」カタカナ変換</p> <p>1) 「っ」の入力方法を説明 (同じ子音を重ねる)</p> <p>2) 「ー」を入力するキーを説明</p> <p>3) カタカナの変換を行うときはスペースキーを押すということを説明</p> <p>4) 入力練習 例) カレー・コーヒー・ドラマ・サンドイッチ 問題) カメラ・ピアノ・チーズ・ドア チケット・メニュー・サッカー・オレンジ・ジュース・プリント コンピューター・インターネット・レモンティー</p>
<p>漢字変換</p>	<p>●自分の名前をカタカナで入力する練習</p> <p>●漢字変換</p> <p>1) 漢字変換を行うときはカタカナと同様、スペースキーを押すということを説明</p> <p>2) 入力練習 問題) きょう・せんたくき・けいじばん・じゅうしょ</p> <p>3) 好きなものを打って変換する (今までの中からでも、それ以外でもいい)</p> <p>●ひらがな・カタカナ・漢字混じりの短い文</p> <p>1) 記号の入力方法を説明する (、。「」『』)</p> <p>2) 入力練習 例) ごはんを食べます。 ファイルを送ってください。 『みんなの日本語』を貸してください。 先生が、「宿題があります」と言っていました。</p> <p>問題) レポートを書きます。 来週のクラスはありますか。 先週のレジメを送ってください。『1Q84』を読んだことがありますか。 明日のパーティーは、フレンドリィ南部で行います。</p> <p>●簡単な自己紹介を書く 「私は〇〇です。〇〇研究科〇〇専攻〇〇課程の△年生です。よろしくお願ひします」</p>

反 省

教室に入ったのがギリギリの時間になってしまい、さらに機器のセッティングに手間取ったため、開始時間がかなり遅くなってしまった。2 時間教室を取ってあったため、大事には至らなかったが、もっと早く教室に入って、きちんとセッティングをしておくべきだった。タイピングクラスは予定していた人数よりだいぶ少なく、出席した学習者は 3 名だった。出席した 3 名のうち、2 名はすでにある程度タイピングができており、一部拗音などで入力方法がわからないということであった。残りの 1 名はほぼ全く日本語のタイピングができない学習者であった。


7 月 30 日 E メールクラス 1 回目 (オリエンテーション)	担当 姜京男
到達目標 ・ E メールの新規作成ができる	
学習項目 ・ E メール of 構造 ・ E メール of マナー	

テーマ	活 動
クラスの目標	<ul style="list-style-type: none"> ●クラスの目標と 5 日間の内容について、以下の点を説明 ・日本語でフォーマルな E メール of やり取りができるように構成・表現を学ぶ ・実際に E メールを書いてその場で教師とやり取りをする ・5 日間の日程、宿題の説明
メール of 作成	<ul style="list-style-type: none"> ●メール of 作成方法 ・各メールサービスを提示しながら説明 ・新規作成 of 画面を見ながら宛先、Cc、Bcc の説明
メール of 構成	<ul style="list-style-type: none"> ●件名について ・短く、内容がすぐ分かるように書く (例を見せる) ●本文について ・宛先、あいさつ、送信者 of 例をみながら表現を知る ・本文 of 構成は①前置き、②内容、③返信 of お願いから成る ●むすびについて ・どうぞよろしくお願ひいたします／では、失礼いたします／またご連絡させていただきます ●メール of マナー (注意点) を考える ・です/ます で書く、敬語や丁寧な言葉遣い、顔文字は使わない

<p>良い例</p>	<p>●良いメールの例を見せ、ポイントを確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どの授業を受けているか、明確に ・自分の所属を明記する ・あいさつ「突然のメール、失礼いたします」
<p>あいさつ</p>	<p>●「突然のメール、失礼いたします」の使い方</p> <p>送信先の相手が、メールが来ることを想定しているかどうかで、使うか使わないか決める。→事前にメールを送ることを指示されている場合などは使わない。</p>
<p>所属</p>	<p>●所属の書き方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・送信先の相手の所属を考えて書く ・相手と同じ部分は省略することができる。 ・あまり長くならないようにする
<p>メールの構成</p>	<p>●メールの構成の説明</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 相手の名前 2. 「突然のメール、失礼いたします」 3. ○○を受講しております、○○研究科○○年の○○と申します。 4. 本文 5. 「よろしく願いいたします」 6. 署名
<p>ファイルを添付してメールを送る</p>	<p>●どんなファイルを添付するかブレンストーミング</p> <p>Word ファイル、Excel ファイル、PDF ファイル、テキストファイル、写真など</p> <p>●例示するメールの場面設定</p> <p>「月曜日 2 限の『日本の文学作品』という授業の期末レポートを黒田先生に送りたいです。先生は、「レポートは Word ファイルで作って、メールに添付して送ってください」と言いました。レポートを添付して、メールを送ります」</p>
<p>悪い例</p>	<p>●悪いメールの例を見せ、ディスカッション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ファイルが添付してあることが明記されていない ・何の授業の課題かわからない ・あいさつがない
<p>良い例</p>	<p>●よいメールの例を見せ、ポイントを確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ファイルを添付した場合は、必ず明記する ・「○○を添付でお送りいたします」 ・何のファイルを送ったのか明記する ・「いつもお世話になっております」「お忙しいところ失礼いたします」
<p>実際にメールを書いて送る練習</p>	<p>●練習のメールの場面設定</p> <p>「あなたは頭が痛いので、授業を休むことにしました。先生に授業を休むことをメールします。しかし、今日の授業では宿題があったので、それを添付して送りたいです。先生には今までメールを送ったことはありません」</p>

	<p>※授業名、先生の名前、添付するファイルは自由に決めてよい。</p> <p>※添付するファイルは適当に作ってもらおう。タイトルだけつけて中身は空でもいい。</p> <p>●練習のためのブレインストーミング</p> <p>数人当てて、「どんな授業を受けていますか?」「先生の名前は?」「レポート?宿題?」など聞いていく。</p> <p>●手順の説明</p> <p>①学生がメールを書いて教師アドレスに送信する</p> <p>②Tが先生になったつもりで、返信をする</p> <p>③Tが学生にメールのFBを送る</p> <p>●メールを書く</p> <p>時間内に書き終わらなければ宿題。</p>
--	--

反省	
<p>前日の反省を生かし、説明時には教師がただ説明するだけでなく、学習者がグループまたは全体で考え、意見を出し合いながらメールを考えていく方法を取った。悪い例を見てどこが悪いのか考えるときに、グループでは出てこなかった点を教師が説明すると「あー。」と反応していたので、新たな気づきが生まれていたのではないかと思われる。</p> <p>練習時にメールを送る相手として我々実習生や指導教員の名前を挙げていながら、「突然のメール、失礼いたします」で始まるメールを書いている学習者がいた。これは練習の説明が不十分であったためだと考えられる。また、「突然のメール、失礼いたします」の使用方法があまり学習者に理解されていなかった可能性もある。使用方法をもう少し例示して見せる必要があった。</p>	

<p>8月3日 Eメールクラス 3回目</p>	<p>担当 入江友理</p>
<p>到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アポイントメントを取るためのメールを送ることができる ・そのメールの返信に対して、適切に返事を書くことができる 	
<p>学習項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・用件と日時の書き方 ・返信に対する返信の仕方 	


テーマ	活動
-----	----

<p>アポイントメントを取る場面</p>	<p>●アポイントメントを取る相手、目的のブレインストーミング 「どんな人にアポイントメントを取るメールを送りますか？」 指導教員、授業を取っている先生、チューター など 「何のためにアポイントメントを取りますか？」 研究の相談、発表の相談（レジユメを見てもらう）、推薦状を書いてもらう など</p>
<p>最初のメールを書く</p>	<p>●例示するメールの場面設定 「今日は 8 月 3 日です。あなたは指導教員と研究の相談をしたいです。アポイントメントを取りたいので、指導教員にメールします」</p>
<p>悪い例</p>	<p>●悪いメールの例を見せ、どこが悪いかグループディスカッション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先生の都合を聞いておらず、一方的に日時を指定している ・日時がとても急である <p>●そういう場合の先生の返信例を見る 「都合が悪いので別の時間にしてください」</p> <p>●こうならないためにはどうすればいいかグループディスカッション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・疑問形にすればいいというものではない ・余裕を持たせてアポイントメントを取る ・日時は幅を持たせていくつか候補を挙げる <p>例) 丸一日・午前中だけで 2 日間、曜日と時間をいくつか指定</p>
<p>メールの構成</p>	<p>●構成の確認</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 相手の名前 2. あいさつ 3. (所属と) 名前 4. 本文 (用件、日時の候補) 5. むすび 6. 署名
<p>日時と用件</p>	<p>●用件と日時の候補を述べるには？ グループディスカッションでブレインストーミング</p> <p>●用件と日時の候補を一緒に述べる表現</p> <p>1)用件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・〇〇したい／させていただきたいのですが、 ・〇〇してさせていただきたいのですが、 ・〇〇に伺いたいののですが、 ・〇〇をお願いしたいのですが、 <p>2)日時の候補</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(△△か) △△にお時間いただけないでしょうか ・(△△か) △△にお時間ありますでしょうか。 ・(△△か) △△にお伺いしてもよろしいでしょうか。

<p>良い例 相手からの返信 とそれに対する 返信</p>	<p>いくつか例を入れて練習</p> <ul style="list-style-type: none"> ●良いメールの例を見せる ●相手からの返信の例 <p>考えられる返信は2通り（返信の例を見せる）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 日時を指定してくる 2. 候補を挙げてくる <p>必ず返信しなければならないのはどちらか？→全体に問いかけ</p>
<p>返信2パターン</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●相手が日時を指定してきた場合の返信 <p>わかったということを伝えるために、必ず返信すること。 できれば、日時をもう一度繰り返して返信すると良い。 (返信の例を見せる)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●相手が候補を挙げてきた場合の返信 <p>自分の都合のいい時間を選んで、返信する。 (返信の例を見せる)</p>
<p>練習</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●練習するメールの場面設定 <p>「あなたは自分の研究を学会誌に投稿することにしました。その原稿を指導教員に見てもらいたいです。アポイントメントを取るために、指導教員にメールします。今日は8月3日(火)です」</p> <ul style="list-style-type: none"> ●練習のためのブレインストーミング <p>「指導教員は何と言う先生ですか」</p> <ul style="list-style-type: none"> ●手順の説明 <ol style="list-style-type: none"> ①学生がメールを書いて教師アドレスに送信する ②Tが相手になりきって、返信をする ③学生がそれに対して返信する ④Tがフィードバックを送る <ul style="list-style-type: none"> ●メールを書く <p>授業時間内に終わらなければ宿題</p>

反省
<p>用件と日時を1文につなげて書く方法を説明したが、説明が複雑になってしまったと感じた。そのためか、1文につなげずに用件と日時を分けて書いている学習者が多く見られた。1文につなげて書いたほうがすっきりすることと、実際の日本語のメールでは1文につなげる方法のほうがよく用いられるのではないかということで取り上げたが、必要性が意識されるような提示の仕方になっていなかったと考えられる。しかし、全体としてどの学習者も適切に用件を述べ、日時を提示することができており、返信に対する返信も適切に行っていたのが印象的であった。普段から比較的慣れているタスクだったのかもしれない。</p>


練習に関して、普段から日本語のタイピングやメールの作成に慣れている学習者は早く終わるが、そうでない学習者は非常に時間がかかる様子が見て取れた。早く終わる学習者は練習の時間の後半あたりが暇になる一方、時間がかかる学習者は宿題が重なって負担が増えるという差をどのようにすればいいのか、考えなければならないと思った。

8月4日 Eメールクラス 4回目	担当 姜京男
到達目標 <ul style="list-style-type: none"> ・依頼のメールを送ることができる ・丁寧に返信を求めることができる 	
学習項目 <ul style="list-style-type: none"> ・「お願いしたいことがあって、メールを差し上げました」 ・依頼と返信をお願いする表現 ・「お手数をおかけして大変申し訳ございませんが～」 	

テーマ	活動
依頼をする場面	<ul style="list-style-type: none"> ●依頼をする、相手に関するブレインストーミング 「何を願いますか」 たとえば、先生に推薦書、TA やチューターに日本語のチェック、先輩に資料や本を借りる など ●依頼するメールの場面設定 「あなた日本語学会で発表することになりました。発表は日本語でしなければなりません。チューターに日本語をチェックしてもらいたいです、会う時間がないので、メールでやりとりしたいです」
悪い例	<ul style="list-style-type: none"> ●悪いメールの例を見せ、どこが悪いかグループディスカッション ・言葉（添付、添付ファイル）の説明後、構成の確認 ・件名が曖昧、前置きの表現がない、返信をお願いする言葉がない、あいさつが不十分
メールの構成	<ul style="list-style-type: none"> ●適切な表現を考えてもらう ・自分なら件名（お願い）をどうするかを考え、資料に書き込んでみる ●前置きの表現を提示 「今日はお願したいことがあってメールしました」 「お忙しいところ申し訳ございませんが、お願いがあります」

練習	<p>「実は、お願いしたいことがあってメールを差し上げました」</p> <p>●お願いの表現を示す</p> <p>「恐れ入りますが～」 「ご迷惑でなければ～」 「申し訳ありませんが～」</p> <p>「～していただきたいのですが」「～していただけないでしょうか」「～をお願いしたいのですが」</p> <p>●返信を求めるときの表現を示す</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メールで送ってもらいたいとき <p>「もし可能なら、～てください」「すみませんが、～していただけますか」</p> <p>●構成について完成でいいかどうか、グループで再度、確認する</p> <p>●お願いするときの注意点を考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・余裕を持ってお願いし、相手に十分な時間をもたせる。 <p>●結びの表現を考える</p> <p>「お手数をおかけして大変申し訳ございません」「お手数をおかけしますが」「お忙しいところ申し訳ございませんが」</p> <p>●練習問題に取り組む</p>
----	--

反省
<p>パワーポイントと配布資料に振り仮名をふり忘れたところがあったため、スムーズに進められなかったことは大変反省すべき点である。今後の授業では細心の注意を払わなければならないと思った。定型表現は言葉の説明をもう少し詳しくしたほうが学習者が理解しやすかったかもしれない。全体的に単調な授業になってしまったので、グループで考えるところをもっと入れたほうが良いと思った。練習課題もいくつか用意して、学習者が各自もつとも出くわす確率の高いものを自ら選んで取り組むというやり方のほうが、よりよかったかもしれない。今後の授業ではこのような点を事前に考えなければならないと思った。</p>

8月5日 Eメールクラス 5回目	担当 姜京男
<p>到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知りたい情報を求めるメールを送ることができる ・そのメールの返信に対して、適切に返事を書くことができる 	
<p>学習項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「～のことでお伺いしたいことがあって～」 ・「差し支えなければ」 ・「～していただきたいのですが」 	

テーマ	活動
<p>情報を求める場面</p>	<p>●情報を求める時や、相手に関するブレーストーミング 「どんなとき、誰に、何を聞きますか？」 指導教員、授業を取っている先生、チューター、先輩、知らない人 など 「何を聞きますか？」 レポートについて・本の名前や論文の情報、〇〇をする方法 など</p>
<p>悪い例</p>	<p>●例示するメールの場面設定 「あなたは「日本文化」の授業を受けています。先生は歌舞伎の本を紹介してくれました。私はもう一度、その本が読みたいです。本の名前と、どこで買えるか先生に聞きたいです。先生にメールを送ったことはありません。」</p>
<p>メールの構成</p>	<p>●悪いメールの例を見せ、どこが悪いかグループディスカッション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・件名が曖昧、所属を述べてない、 ・質問の前置きがなく、表現が不適切 <p>●適切な表現を示す</p> <p>「～でしょうか。差し支えなければ教えてください」 「～かどうか、教えていただけませんか」</p> <p>●私ならどうする？ 件名を考えて資料に書き込んでみる</p> <p>●お願いの表現を示す</p> <p>「恐れ入りますが～」 「ご迷惑でなければ～」 「申し訳ありませんが～」 「～ていただきたいのですが」 「～ていただけないでしょうか」 「～をお願いしたいのですが」</p> <p>●返信を求めるときの表現を示す</p> <p>「もし可能なら、～てください」 「すみませんが、～ていただけませんか」</p> <p>●再度構成から、完成でいいかどうかグループで確認する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・結びの表現を考える <p>「お手数をおかけして大変申し訳ございません」 「お手数をおかけしますが」 「お忙しいところ申し訳ございませんが」</p>
<p>練習</p>	<p>●練習問題に取り組む</p>

反省

最終日だったため、今までの学習を踏まえ、学習者が自ら構成を考えるように段階を踏んで質問しながら授業を進めた。学習者が思ったより構成を理解していたため、質問にもスムーズに答えられていた。各項目の悪い例について「私ならどうする？」と質問を投げかけ、配布した資料に書いてもらったり、クイズ形式にして答えてもらったりして単調にならないように心がけた。しかし、配布した資料に書いてもらう際、内容を理解していても「書く」ことが学習者に大きな負担をかけることになってしまい、時間がかかってしまった。全てクイズ形式にしたほうがよかったかもしれない。練習問題では、定型表現としてまとまった形で使われる表現を学習者なりに応用し、不自然な表現になってしまった場合もあったので、もっと例を見せながら説明したほうが良かったと思った。

4.2.5 E メールクラス全体の反省

E メールクラスでは、普段の授業で取り上げることの少ない E メール の書き方に焦点をあてた。E メール は学習者の日常生活において身近なものであるにもかかわらず、E メール の構成や表現を取り上げる授業は少ないと感じたため、今回の実習では、E メール の構成、返信の出し方、定型表現、E メール のマナーを取り上げた。授業中は一人一台ノート PC を使って実際に E メール を書いてもらった。普段から日本語のタイピングやメールの作成に慣れている学習者とそうでない学習者の間に時間の差が生じて、慣れてない課題や授業方法で戸惑う学生もいたため、もっと工夫すべきだったと思う。一方、授業や教師とのやり取り（課題）を重ねるにつれ、学習者の E メール の構成の完成度が上がっていくことを実感でき、大変嬉しく思った。今後も新しいことを取り入れながら自分達の授業が学習者にとって有意義な時間になるように頑張りたいと思う。

(担当 姜京男)

4.3 発音クラス

4.3.1 クラス目標

普段の授業ではおろそかにされがちな発音に特化したクラスである。このクラスの主な目標は以下の 2 点である

- ・ 日本語のアクセントが高低アクセントであることを理解する
- ・ アクセントの高低差を聞き分け、自分で直せるようになる

アクセントの聞き分け、発音練習にはアクセントダイアグラム（以下、AD 図）²²を用いた。

²² AD 図とは、鹿島（2002）が提案する、高さ（ピッチ）と長さ（長さ）を融合させた音声表示方法である。従来の表示方法についてはプロソディーグラフしかないのが現状であった。AD 図の有用性について、鹿島（2006）では次のように書いている。

日本語のアクセント・リズムを学ぶ上で、長さ・高さの両方が図示されており、聴覚だけでなく視覚からも学ぶため、有用と考え今回のクラスで用いることとした。

また、ただ反復練習をするだけでなく、実際に日本語を運用する場面と近づけた練習も必要と考え、学習者が遭遇することが多い場面として教員の研究室を訪ねる場面のロールプレイを組み込んだ。自分の発音を客観的に聞き、改善させる手立てとして、ロールプレイの様子を録画し、発音練習前と練習後を比較させた。

4.3.2 シラバス

<1日目 担当：今澤ひろ子・塩瀬博子>

- ・ オリエンテーション
- ・ アクセントの高さ・長さの聞き取りクイズ
- ・ AD図を使った、高さ・長さの言い分け①（単語）

<2日目 担当：塩瀬博子>

- ・ AD図を使った、高さ・長さの言い分け②（文）

<3日目 担当：今澤ひろ子>

- ・ 録画①：先生の研究室を訪ねる場面の会話
- ・ AD図を使った、文の発音練習①

<4日目 担当：塩瀬博子>

- ・ AD図を使った、文の発音練習②
- ・ 先生の研究室を訪ねる時のマナー

<5日目 担当：今澤ひろ子>

- ・ 録画②先生の研究室を訪ねる場面の会話
- ・ 録画①と録画②の見比べ

4.3.3 作成した教材

発音クラスでは、主にAD図の型と単語・文の例を記載したプリントを作成・配布した。作成した教材は以下の4点である。

① 特殊拍を含まない単語のAD図

語の長さをコントロールするための手がかりとしてリズム単位を導入、練習しているときには、すでに高さの要素も当然ながら入り込んでいる。(中略)したがってここに、長さ・高さを同時に練習する必要性が生まれてくるが、少なくとも、リズムの導入は先行して行ったほうが分かりやすい。

詳細は以下の論文を参照。

鹿島央 (2002) 「韻律表示による音声教育試論—リズムとアクセントの融合を基礎として—」『名古屋大学日本語・日本文化論集』10:77-90

鹿島央 (2006) 「日本語リズム・アクセント教育の実践」『名古屋大学日本語・日本文化論集』13:117-130

- ② 特殊拍を含む単語とあいさつ文の AD 図
- ③ 各学習者の名前と出身国名を AD 図で表示したカード
- ④ 研究室を訪ねる時のマナーを記載したフローチャート

ここでは、作成した教材の一部を以下の順に載せる。

- ① 特殊拍を含まない単語の AD 図
- ② 特殊拍を含む単語とあいさつ文の AD 図

①特殊拍を含まない単語の AD 図は、1 日目に発音練習をした単語を AD 図に示し、2 日目に配布した。当初配布予定のない教材だったが、メモを取っている学習者が大勢みられ、プリントが欲しいというので作成し、後日配布した。また、2 日目に同じものを用いて復習を行った。②特殊拍を含む単語とあいさつ文の AD 図は、主に 2 日目に配布・使用した。2 日目にあいさつ・自己紹介文まで練習ができなかったため、3 日目の時間を利用してあいさつ・自己紹介文の練習を行った。

(1) 2-box word



かさ
いま
あさ



くに
ごみ
かぎ

(2) 3-box word



なごや
あいち
てれび



たまご
あつい
ひとり

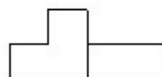


わたし
なまえ
おかね

(3) 4-box word



まいにち
あいさつ
らいげつ



たべもの
のみもの
たてもの




ひらがな
かたかな
たべます
のみます

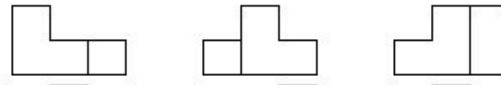


ちかてつ
ともだち
こいびと
だいがく

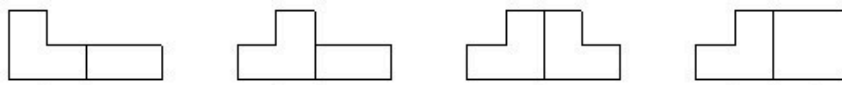
(1) 2-box word


 じしょ いしゃ
 ほん さん
 ちよこ ばしょ

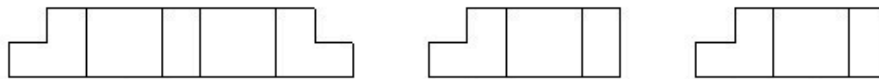
(2) 3-box word



 げんき にほん かんじ
 りょうり よにん えいが
 びじん しけん とけい

(3) 4-box word

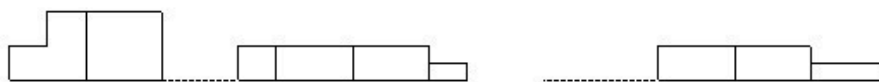

 おんがく としょかん せんせい せんもん
 ふじさん ひこうき おおきい べんきょう
 しんせつ じてんしゃ こうじょう がっかい

(4) あいさつ greeting


 おはようございます こんにちは こんばんは



 さようなら

(5) 自己紹介 self introduction


 わたしは (名前) ともうします (国) からきました


 どうぞよろしくおねがいします


4.3.4 授業内容

7月30日 発音クラス 1回目 (オリエンテーション)	担当 今澤ひろ子・塩瀬博子
到達目標 <ul style="list-style-type: none"> 日本語のアクセントの仕組みを理解する AD図を用いた発音練習ができるようになる アクセントの高低の聞き分けができるようになる アクセントの高低の言い分けができるようになる 	
学習項目 <ul style="list-style-type: none"> AD図 2拍～4拍の無意味語アクセントの高低差 特殊拍を含まない単語アクセントの高低差 	

テーマ	活動
オリエンテーション ヨン ≪担当：塩瀬≫	<ul style="list-style-type: none"> ● 自己紹介 ペアでの発音練習を取り入れるため、教師（以下 T）だけではなく、学習者（以下 S）も自己紹介をする ● クラス目標の確認
高低アクセントの説明 ≪担当：今澤≫	<ul style="list-style-type: none"> ● ≪飴≫と≪雨≫の絵を見せ、発音してもらい、両者の何が違うのかをSに聞く（他≪二時≫と≪虹≫、≪橋≫と≪箸≫）
AD図の説明 ≪担当：今澤≫	<ul style="list-style-type: none"> ● ≪飴 (LH) ≫と≪雨 (HL) ≫のAD図をホワイトボード（以下 WB）に貼り、高さの違いを図示 ・ AD図を使ったことがある人の確認 ・ AD図の説明 ・ 長さと高さに注目させる
聞き分け練習 ≪担当：塩瀬≫	<ul style="list-style-type: none"> ● 無意味語「ばば」での聞き分けクイズ ・ 2拍（2通り）→3拍（3通り）→4拍（4通り）の順で練習する（発音された型に該当するものを、W.B.上に提示された型記号で答える） ・ 学生によるランダムクイズ
言い分け練習 ≪担当：塩瀬≫	<ul style="list-style-type: none"> ● 無意味語「ばば」での言い分け練習 ・ 2拍→3拍→4拍 ● 有意意味語（2・3・4拍の普通音）の言い分け練習 ・ クラス全体でコーラス

	・ ペアで練習
--	---------


反省
<p>日本語は高低アクセントがあるということを理解している学習者が多く、予想よりも説明に時間がかからなかった。</p> <p>ほとんどの学習者は AD 図での発音練習が初めてで、時間がかかると予想していたが、理解が早く得られ、練習が多くできたのはよかった。</p> <p>上記の活動でランダムクイズに使用する紙の準備を忘れ、時間が取られたが、その間をペア練習に取った。しかしすべてのペア練習時、隣の席に人がおらず 1 人で練習していた学習者がいることに気付かず、配慮が足りなかった。</p> <p>クイズを学生から出してもらったことは、一方向の（学習）形を避けるためにもよかったのではないかと思う。</p> <p>授業担当者以外の実習生も教室に待機するようにしたので、手の空いている実習生が学習者がペアで発音練習をする際にも机間巡視を行い、発音の指導をすることができた。</p> <p>言い分け練習で用いた単語をメモしている人が多かったため、後日プリントを配布することとした。</p>

8月2日 発音クラス 2回目	担当 塩瀬博子
到達目標 <ul style="list-style-type: none"> ・ AD 図をもとにして、特殊拍の高低差を聞き分け・言い分けできるようになる ・ 正しいアクセントとイントネーションで自己紹介ができるようになる 	
学習項目 <ul style="list-style-type: none"> ・ 特殊拍を含む単語のアクセント ・ 自己紹介文のアクセント 	

テーマ	活動
前回の復習	<ul style="list-style-type: none"> ● タスク（特殊拍なし） <ul style="list-style-type: none"> ・ W.B.に 2～4 拍のアクセント型を貼り付け、記号を振っておく →学生が AD 図と単語の書いてあるくじを引く→くじの単語を発音する→答えをクラスメートに聞く
聞き分け練習	<ul style="list-style-type: none"> ● クイズ①（特殊拍の拍数） <ul style="list-style-type: none"> ・ T が特殊拍の入った単語を発音する→学生が拍数を答える

	<ul style="list-style-type: none"> ● クイズ② (特殊拍を持つ単語の高低) <ul style="list-style-type: none"> ・ W.B.にアクセント型と記号を振っておく ・ T が 2 拍→3 拍→4 拍→ランダムに発音する→学生は該当する型の記号で答える
言い分け練習	クラス全体→ペア練習
自己紹介練習	文レベルでの練習


反省	
<p>上記クイズ②の活動中、シートを事前に準備していたことを忘れそれを使わなかったため、各拍数の単語選びにもたついてしまい、テンポよくできなかった。</p> <p>途中迷いながら授業をしていた所もあり、学生に不安感を与えてしまったのではないだろうか。もう少し流れよくできれば、最後の自己紹介にもっと時間が取れたかと思う。</p>	

8月3日 発音クラス 3回目	担当 今澤ひろ子
到達目標 <ul style="list-style-type: none"> ・ AD 図での発音練習に慣れる ・ 自分の振る舞いを客観的に見る 	
学習項目 <ul style="list-style-type: none"> ・ 挨拶や自己紹介文のアクセント ・ 研究室訪問時の振る舞い 	

テーマ	活動
アクセント表記	<ul style="list-style-type: none"> ● アクセントの法則について簡単に説明 ・ 電子辞書のアクセント表記と共通語のアクセントの法則についてを簡単に説明
復習	<ul style="list-style-type: none"> ● 前回言い分け練習をした語彙の復習 ・ WB に AD 図と型に該当する単語を書き、拍数などランダムに T が指差しそれを S が発音する練習 ・ AD 図と異なるアクセントで発音した場合は、S の発音に該当する AD 図を示す
先生を訪ねるときのマナー	<ul style="list-style-type: none"> ● 先生の研究室を訪ねるロールプレイ ・ 全体で一度、まず何をするか、何と言うかを S に聞く ・ T は学習者が挙げてくれた行動・台詞を WB に書く
ビデオ撮影	<ul style="list-style-type: none"> ● ロールプレイ撮影 (1 回目)

AD 図を用いて 挨拶の練習	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教室のドアを研究室のドアに見立てて、実際にノックするところからロールプレイ ● 前挨拶と自己紹介文の発音練習を、AD 図を用いて行う ・ 個人の名前も AD 図に表し、配布
-------------------	--


反省
<p>ロールプレイの撮影中、ロールプレイをしていない学習者は、ただ撮影を見ているだけになってしまった。最終日に撮影するときには、見ている学習者には評価シートを書いてもらうことにした。</p> <p>アクセントの高低を直す際、学習者の発音と正しい発音の両方を AD 図で表して指摘するようにしたが、学習者の発音を図示せず間違いを指摘したときもあり、その学習者はやはり直すのが難しかったようである。また、WB に学習者の発音を図示している時間が長く、テンポのよくない授業になってしまった。</p>

8月4日 発音クラス 4回目	担当 塩瀬博子
到達目標 <ul style="list-style-type: none"> ・ AD 図を使って、日本語らしく発音できる ・ 丁寧な話し方ができる ・ 日本で良いとされるマナーを理解する 	
学習項目 <ul style="list-style-type: none"> ・ 先生の研究室を訪ねて依頼する時の会話 ・ 研究室訪問時の振る舞いのマナー ・ 研究室訪問時の振る舞いの言葉使いや話し方 	

テーマ	活動
表現練習	<ul style="list-style-type: none"> ● 訪問時の表現 ・ フローチャートをもとにコーラス→ペア練習
訪問時の振る舞いを考える	<ul style="list-style-type: none"> ● 担当者（今澤・塩瀬）によるロールプレイ（先生役と学生役）をチェック ・ ロールプレイを見ながらその「振る舞い」について、評価表に記入する ・ 意見を述べる ・ 再度ロールプレイを見て、「話し方」をチェック ・ 意見を述べる
訪問時の話し方を考える	<ul style="list-style-type: none"> ● 学生によるロールプレイをチェック ・ 「振る舞い」と「話し方」について意見を述べる

練習	ペアで練習
----	-------

反省
<p>(活動最初の訪問時の) 表現練習の際、担当者がアクセントやイントネーションを一文間違っで発音してしまい、学生に迷惑をかけてしまった。授業に向かう前に正しい発音を練習しておくべきだったと反省した。</p> <p>ロールプレイの評価では学習者達は適切、妥当な判断を下していた。ロールプレイ評価時に振る舞いと話し方の 2 点を同時にチェックするのは負担だと考え、ロールプレイを 2 回行い、それぞれに分けて書いてもらった。焦点を絞って検討ができるので、その方法でよかったのではないかと思う。</p> <p>最後に数人の学習者にロールプレイをしてもらったが、演じたのがクラスメートということもあって様々な反応があり、意見交換もにぎやかであった。</p>

8月5日 発音クラス 5回目	担当 今澤ひろ子
到達目標 <ul style="list-style-type: none"> 先生の研究室を訪ねる時の言葉を、AD 図の通りに発音できるようになる 先生の研究室を訪ねる時のマナーを身に付ける 	
学習項目 <ul style="list-style-type: none"> 挨拶文のアクセント・イントネーション 研究室訪問時の振る舞い 	

テーマ	活動
台詞練習	<ul style="list-style-type: none"> ● 前回配布したフローチャートを使って台詞の発音練習 ・ AD 図なしで AD 図の通りに発音できるようペア練習をする ・ T はペアのいない S の練習相手になる ・ 最後に机間巡視で個人の発音チェックをする
ビデオ撮影	<ul style="list-style-type: none"> ● ロールプレイ撮影（2回目） ・ 撮影1回目よりもレベルを上げ、教員役の S はランダムに変える ・ S の対応のバリエーションを増やす ・ 撮影中、ロールプレイをしていない S は、ロールプレイをしている人の態度・発音などを評価する ・ 評価シートは、評価された人に配布する
ビデオ比較	<ul style="list-style-type: none"> ● 発音練習前と練習後のビデオを比較 ・ 電子黒板を用いて、発音練習前と練習後の比較する ・ よくなったところなどを発表しあう <p style="text-align: center;">撮影したビデオは、後日 E メールに添付し S に送付する</p>

反省
<p>ビデオの撮影を私物のデジタルカメラで行ったので、音声の入りがあまりよくなく、声がほとんど聞こえない学生もいた。ビデオカメラを借りるべきだった。また、電子黒板での操作に戸惑ったところもあった。十分に慣れていない機器を使ったので、準備が不十分だったと感じた。</p> <p>研究室訪問時のマナーについては、格段に良くなっていたように思う。</p>

4.3.5 発音クラス全体の反省

ペアでの声出し、意見交換、体を動かすロールプレイなどがあったせいか、楽しく授業に参加してくれたと思う。レベル差や、言語学習歴、母語の差などが激しく、AD 図を見ただけですぐにその通り発音できる人から、繰り返し練習をしても何が違うのか分からない人までいたようである。実習生が一人一人に十分な時間を割いて指導することはできなかったが、学習者同士のペア練習は効果があったようである。

AD 図を用いたことで、やはり視覚からもアクセントの高さがわかり、学習者は安心して練習していたように思う。AD 図と異なる発音をした場合にも AD 図で示し、差異をわかりやすくしたことには効果があった。しかし、単純に高さを直すばかりではなく、速さの調節によって高さが直ったこともあり、発音の矯正の難しさを感じた。

教員の研究室を訪ねるロールプレイについては、学習者もたびたび行うためか、常識から大きく逸脱するような行動をする人はいなかった。しかし挨拶の言葉などはさまざまなバリエーションがあったために、新しい情報を提示することはできたようである。

(担当 今澤ひろ子)

4.4 聴解クラス

4.4.1 クラス目標

聴解クラスの目的は、日本のテレビ番組を通じて情報を得ることができるようになることである。クラスの主な目標は以下の3つである。

- ・日本語のテレビ番組（特にニュース、情報番組）を楽しく見ることができる。
- ・聞き取れない情報があっても、映像やテロップから情報を補うことができる。
- ・ニュース・情報番組でよく使われる言葉や表現がわかる。

これらを見につけるために、「そうだったのか！池上彰の学べるニュース²³」という番組を選択した。授業ではこの番組を通じて日本や世界のニュースについて勉強することを主な活動とする。できるだけわかりやすい番組を用いることで、授業で見る分のビデオについて理解するだけでなく、番組そのものにも興味を持ってもらえることを目指す。

また、日本の歌にも親しめるよう、日本のポップスを歌う。歌う曲は「明日があるさージョージアで行きましょう編²⁴」である。

4.4.2 シラバス

<1日目 担当：入江友理・今澤ひろ子>

- ・オリエンテーション
- ・「明日があるさージョージアで行きましょう編」の歌詞の説明
- ・「そうだったのか！池上彰の学べるニュース」《テーマ1：EUとユーロ》①

²³ テレビ朝日系列で毎週水曜日夜8時から放送している報道型バラエティ番組（2011年1月現在）。元NHKアナウンサーでジャーナリストの池上彰がスタジオのコメンテーターの質問に答えながら、さまざまなニュースの疑問をわかりやすく解説していく番組。毎回、今話題のニュースについて解説を行っており、取り扱うジャンルも政治、国際、社会だけでなく、身近な疑問についてなど、幅広いジャンルを取り扱っている。解説そのものがわかりやすいだけでなく、映像や写真、図解などが多く取り入れられており、視覚的な補助が多いことから、比較的初級の学習者でも理解できると考え、教材として採用した。

²⁴ 1963年にリリースされた坂本九の「明日があるさ」（作詞 青島幸男・作曲 中村八大）を、2001年に福里真一の替え歌作詞によりウルフルズがカバーしてリリースした楽曲。日本コカ・コーラ社の缶コーヒー「GEORGIA」のCMソングとして起用され、話題になった。不況のなか明るく前向きに日々を過ごすサラリーマンを描いた歌詞が特徴的。1番から4番まで歌詞があるが、原曲の「明日があるさ」と同じである1番を除いて、2番、3番、4番にはその歌詞に合った内容のCMが制作されており、動画が入手できたため、曲に対する興味をより持ってもらえるのではないかと考え、この曲を採用した。

<2日目 担当：今澤ひろ子>

・「そうだったのか！池上彰の学べるニュース」《テーマ1：EUとユーロ》②

<3日目 担当：入江友理>

・「そうだったのか！池上彰の学べるニュース」《テーマ2：オランダ》

<4日目 担当：今澤ひろ子>

・「そうだったのか！池上彰の学べるニュース」《テーマ3：新総理誕生》

<5日目 担当：入江>

・「そうだったのか！池上彰の学べるニュース」《テーマ4：日本の借金》

4.4.3 作成した教材

聴解クラスでは、以下の教材を作成した。

- ①「明日があるさ」歌詞カード
- ②テロップ用の語彙リスト
- ③電子黒板²⁵の Notebook
- ④ビデオのスクリプト
- ⑤スクリプト用の語彙リスト

①の歌詞カードは、授業の最初に「明日があるさ」を歌う際に使用した。歌詞にはふりがなはつけたが、英語訳はつけなかった。

②の語彙リストは、ビデオに出てくるテロップのなかで、読み方や意味がわからない場合を想定して作成した。ビデオ全体において重要な語彙を拾い、ふりがなと英語訳をつけた。

③は、ビデオを見た後で内容を理解できたかどうか確認するために作成した電子黒板用のファイルである。番組の映像を材料にして、番組内での解説と同じように動かせるイラストを作成した。基本的にはTが動かすが、状況に応じて学生も参加して動かした。

④のスクリプトは、ビデオの内容を学習者が各自で確認したり、復習したりするために、作成した。ふりがなはつけたが、英語訳はつけていない。

⑤の語彙リストは、②とは異なり、スクリプト内で重要と思われる語彙を選んでリストアップし、読み方と英語訳をつけた。あまりたくさんあると混乱をきたす恐れがあるため、分量は2ページ以内とした。

次ページより、作成した教材の一部を示す。

²⁵ 使用した電子黒板はインタラクティブ・ホワイトボード（Interactive Whiteboard）形式のものである。インタラクティブ・ホワイトボードとは、コンピュータのデスクトップを表示する大型ディスプレイで、タッチパネルの機能も併せ持つ。普通のディスプレイのようにデスクトップの作業状態が表示されるだけでなく、画面に直接触れることで操作を行うことができる。また、付属のペンを用いて文字や線を書くこともできる。今回は専用ソフト「SMART BOARD Software」を用いて、ビデオで出てきたものと同じように動かせるイラストを作成し、授業で使用した。

① 「明日があるさ」 歌詞カード

明日があるさ ジョージアで行きましょう編

words by 青島幸男 music by 中村八大 song by ウルフルズ

- ① ^{あした}明日があるさ ^{あした}明日がある
^{わか}若い ^{ぼく}僕には ^{ゆめ}夢がある
いつかきっと いつかきっと
わかってくれるだろう
明日がある 明日がある 明日があるさ
- ② ^{かいしか}会社をおこした ^{やつ}奴がいる
会社に ^{のこ}残った ^{おれ}俺がいる
あせることないさ あせることないさ
^{じぶん}自分に ^い言いきかす
明日がある 明日がある 明日があるさ
- ③ ^{あたら}新しい ^{じょうし}上司は ^{じん}フランス人
ボディランゲージも ^{つうよう}通用しない
これはチャンス これはチャンス
^{べんきょう}勉強しな ^おそう
明日がある 明日がある 明日があるさ
- ④ ある ^ひ目突然 ^{かんが}考えた
どうして ^{おれ}俺は ^{がんば}がんばっているんだらう
^{かぞく}家族のため？ ^{じぶん}自分のため？
^{こた}答えは ^{かぜ}風の中
明日がある 明日がある 明日があるさ
- ⑤ 「^{ちかごろ}近頃の ^{わか}若いやつは」とよく ^い言うけれど
自分のころより ^{だいぶ}だいぶまし
^{おおめ}大目に見よう ^み大目に見よう
^{けいご}敬語ができないくらい
明日がある 明日がある 明日があるさ
- ① repeat

②テロップ用の語彙リスト

借金: a debt 借金: ちやうきん ~兆円: ...trillion yen 争点: an issue 争点: そうてん 消費税: a consumption tax 消費税: しようひぜい 増税する: to increase taxes 増税する: そうぜい 財政破たん: financial collapse 財政破たん: ざいせいほ	税金: a tax 税金: ぜいきん 借金: a debt 借金: ちやうきん ~兆円: ...trillion yen 先進国: an advanced nation 先進国: せんしんこく トップクラス: top-class トップクラス: とっぷくらす
--	---

③電子黒板の Notebook



④ビデオのスク립ト

そうだったのか！日本の借金

そうだったのか！日本の借金

劇団ひとり：そうだったのか、日本の借金。まずはこちらをご覧ください。

ナレーション：日本の借金、およそ860兆円。これは、今年度の予算、9年分ほどの金額です。そのため参院選では、消費税のアップが最大の争点に。民主党は大敗し、増税の議論はどうなっているのか。でも、国が借金するって、みなさんどうのことかご存知ですか？世界には借金が返せず、破たんしてしまった国も。国の借金を知ることで、日本の将来について学んでいきましょう。

池上彰：さあ、参議院選挙が終わりますと、いよいよ税制改革というのが議論になるんですが、税制改革って何ぞやと言え、税金の制度を変えるってことなんですけどね。具体的に何を言いたいかっていうと、税金を増やしたいって話なんですよね。

劇団ひとり：はい。

池上彰：増税したいっていうと、何か反発もあるので、税制改革について議論しましょうと、いう言い方になるんですが、さあ、なぜ税金を上げるかという話になれば、それは日本の借金が多からだよということですね。どれくらいかという、ま、国と地方の借金を全部ひくると、およそ860兆円と。

土田晃之：これは世界の中でも多いんですか。

池上彰：これは非常に多いですね。先進国の中ではトップクラスの借金と。

ケンドーコバヤシ：先進国トップクラス。

池上彰：はい。あんまり自慢できるトップクラスではない。

ケンドーコバヤシ：ここまでで何で膨れ上がったんですか。

土田晃之：何でトップクラスになっちゃったんですか。

池上彰：そうですね。

ナレーション：日本の借金は先進国の中でも、ご覧のようにトップクラス。お金持ちの国だったはずなのに、なぜこんなことに？

池上彰：ひとつは例えば、景気が悪くなるとですね、景気対策をしなければいけない。でも、景気が悪いと税金が入って来ないでしょ。お金足りないですよね。だから借金をして、例えば道路を作ったり橋をかけたりということをやりますよ。そうすると、やがて景気が良くなればまた税金が戻ってきて、えー、借金は返せるでしょうという発想だったんですね。

ケンドーコバヤシ：先行投資みたいな。

池上彰：で、ま、それで一時良くなったこともあるんですけども、だんだんなかなか景気が良くならないうと、もっとやろうもっとやろうっていう、借金がどんどん増えていった。ふと気づいたら


⑤ クリプト用の語彙リスト

そうだったのか！日本の借金 語彙リスト	
◎借金（しゃっきん）：a debt	バブルがはじけた（ばぶるがはじけた）：
今年度（こんねんど）：the current year	The babble has burst.
◎予算（よさん）：a budget	◎景気対策（けいきたいさく）：
◎消費税（しょうひぜい）：a consumption tax	stimulative measures
争点（そうてん）：an issue	◎政府（せいふ）：the government
大敗する（たいはいする）：	◎公共事業（こうきょうじぎょう）：
to suffer heavy losses	a public enterprise
◎増税する（ぞうぜいする）：to increase taxes	民間企業（みんかんきぎょう）：
反発する（はんぱつする）：to rebel	a private enterprise
議論（ぎろん）：(a) discussion, (a) dispute	さまざまな：various
◎破たんする（はたんする）：	発生する（はっせいする）：to occur, to happen
to fail, to end on failure	◎不景気（ふけいき）：
将来（しょうらい）：the future	a recession, a depression, a slump
◎税制改革（ぜいせいかいかく）：(a) tax reform	◎国家予算（こっかよさん）：national budget
◎税金（ぜいきん）：a tax	踏み出す（ふみだす）：to take steps
◎制度（せいど）：a system	◎国民（こくみん）：a nation, a people
国と地方（くにとちほう）：	◎預ける（あずける）：to deposit, to entrust
the central and local governments	◎金融機関（きんゆうきかん）：
◎～兆円（～ちょうえん）：... trillion yen	a financial institution
◎先進国（せんせいんこく）：an advanced nation	◎発行する（はっこうする）：to issue
トップクラスの（とつぷくらすの）：	印刷する（いんさつする）：to print
top-class, top-rating	電子化する（でんしかする）：computerize
自慢する（じまんする）：to be proud of	取引（とりひき）：a deal, a transaction
◎膨れ上がる（ふくれあがる）：to swell	◎利子（りし）：interest
お金持ち（おかねもち）：the rich	◎利益（りえき）：(a) profit, (a) gain
◎景気（けいき）：business conditions	パーセンテージ（ばーせんてーじ）：(a) percentage
お金が足りない（おかねがたりない）：	国会（こっかい）：a national assembly, the Diet
not have enough money	議決する（ぎけつする）：
◎道路（どうろ）：a road	to decide, to resolve, to take a vote
◎橋をかける（はしをかける）：build a bridge	◎買い手（かいて）：a buyer
一時（いちじ）：at one time, once	現金（げんきん）：cash
だんだん：gradually, more and more	◎信用（しんよう）≡信頼（しんらい）：
どんどん：steadily, rapidly	confidence, trust, reliance

4.4.4 授業内容

毎回の主な授業の流れは以下の通りである。

- ①「明日があるさ」をみんなで歌う
- ②ビデオを区切りのいいところで分割して流す。プロジェクターで映像を映し、横に置いた電子黒板で語彙リストを表示する。
- ③座っている位置や日本語レベル、専門知識などを考慮しながらグループを作り、見た映像の内容について話し合い、学習者同士で理解を深める²⁶。
- ④内容に関する Q&A を行う。電子黒板を用いて、番組と同じように絵を動かしながら解説する。
- ⑤番組全体を見た後、最終的に理解してほしい内容について、もう一度 Q&A を行う。

7月30日 聴解クラス 1回目（オリエンテーション）	担当 入江友理・今澤ひろ子
到達目標 ・「明日があるさ」が歌える ・「そうだったのか！EUとユーロ」の概要がわかる	
学習項目 特になし	

テーマ	活動
オリエンテーション 《担当：今澤》	<ul style="list-style-type: none"> ●クラスの目標と授業内容の説明 ・見る番組は「そうだったのか！池上彰の学べるニュース」 ・授業の最初に歌を歌う「明日があるさ／ウルフルズ」 ●授業の流れの説明 ・番組を見て、内容について話す ●トピック変更のお知らせ

²⁶ ③に関しては、2回目の授業の後、鷺見先生のアドバイスから取り入れた。そのため、2回目の授業では行っていない。


歌	●歌詞カードを配る
《担当：入江》	●曲を一回かける
2番	●ことばの説明 ・会社をおこす⇔会社に残る／焦る／言いきかす
	●ジョージア CM「起業編」見せる
3番	●ことばの説明 ・上司／ボディーランゲージ／通用する／勉強しなおす
	●ジョージア CM「新しい上司編」を見せる
4番	●ことばの説明 ・突然／答えは風の中
	●ジョージア CM「家族編」を見せる
5番	●ことばの説明 ・「近頃の若いやつは」／だいぶまし／大目に見る／敬語
	●ジョージア CM「近頃の若い奴編」を見せる
みんなで歌う	●もう1回曲を全部かける
学べるニュース 《担当：今澤》	詳しく話をするのは次回。今回は1回見るだけ。
ビデオ	●「そうだったのか！EUとユーロ」流す
質問	●少しでも内容について質問 Q1：どこの地域の話でしたか？ Q2：ヨーロッパの、何の話でしたか？ Q3：EUに入っている国のお金は何ですか？ Q4：EUの中で、お金に困っている国がありました。どこでしたか？
語彙リスト配布	●語彙リストを配る ・番組を見て、難しいなと思った人は、来週までにこれを見てくる ・プリントは授業では使わない

反省

「明日があるさ」の歌詞のことばに関して、教師がただ説明するばかりになってしまったので、もう少し学習者から「〇〇は何だと思いますか」など意見を聞いてみるのもよかった。

授業担当者以外の実習生も教室に待機しており、歌うときなどにうまく散らばり、学習者をリードできたと思う。


Q&Aの内容が、映像を理解していなくても知識があれば答えられてしまう項目だったので、映像理解を確認するためのQ&Aとしては不適切だった。

8月2日 聴解クラス 2回目	担当 今澤ひろ子
到達目標 ・「そうだったのか！EUとユーロ」の内容を理解する ・経済、国際に関する語彙を増やす	
学習項目 ・EUとは？ ・EUに加盟するメリット、ユーロのデメリット、ギリシャの経済危機	

テーマ	活動
歌	●「明日があるさ」を全員で歌う
ビデオ①	●ビデオを見る：EUの概要（0:00~5:09）
質問①	●ビデオ①に関する質問 Q1：EUは何の略／何を略した／短くした言葉ですか？ Q2：EU加盟国は、今何カ国ですか？ Q3：EUのお金は何ですか？ Q4：EUに入っていない国はどこですか？ Q5：EUが出来たときは何カ国でしたか？ Q6：ヨーロッパの中で、お金に困っている国はどこですか？ Q7：EUの他に何があるとっていましたか？
ビデオ②	●ビデオを見る：EUが出来るまで（5:09~12:15）
質問②	●ビデオ②に関する質問 Q1：ECは何の略ですか？ Q2：EECは何の略ですか？ Q3：ECSCは何の略ですか？ Q4：ECSCは最初、何カ国でしたか？ Q5：誰が考えましたか？ Q6：アルザス・ロレーヌ地方を、どこどこの国で争っていましたか？ Q7：アルザス・ロレーヌ地方では何が取れますか？ Q8：石炭と鉄鉱石をどうしましたか？ Q9：（共同管理したのは） なののため？
ビデオ③	●ビデオを見る：EUのいいこと（12:15~14:00）
質問③	●ビデオ③に関する質問

<p>ビデオ④ 質問④</p>	<p>Q1：EUに加盟するといいいことって何？</p> <p>●ビデオを見る：ユーロのデメリットとギリシャの経済危機（14:00~21:21）</p> <p>●ビデオ④に関する質問</p> <p>Q1：ギリシャはユーロにしなかったら、経済はどうなっていたでしょうか？</p> <p>Q2：ギリシャはどうして経済危機になりましたか？</p> <p>Q3：ギリシャは嘘をついていたのになぜEUを抜けないのでしょうか？</p> <p>Q4：他の国も抜けたらどうなる？</p> <p>Q5：EUはどの国でも加入できますか？</p>
<p>まとめ</p>	<p>Q1：ECSC→EECで何がかわった？：経済も協力</p> <p>Q2：EES→ECで何がかわった？：外交・安保、軍隊も協力</p> <p>Q3：EC→EUで何が変わった？通貨</p> <p>Q4：EUに加盟して、ユーロを使うメリットって何？</p> <p>Q5：ユーロを使うことのデメリットって何？：</p>
<p>語彙リスト配布</p>	<p>●次回のトピックである「そうだったのか！オランダ」の語彙リストを配布する</p>


反省	
<p>教師が問いかけて、学習者のなかでわかった人が答える、というQ&Aのやり方をしたため、番組を理解するレベルの日本語力でない学習者は、他人の答えを聞くだけになってしまった。授業後、鷺見先生よりアドバイスを受け、次回からは映像を見たあとに学習者同士で内容について話し合う時間を設けることとした。</p>	

<p>8月3日 聴解クラス 3回目</p>	<p>担当 入江友理</p>
<p>到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「そうだったのか！オランダ」の内容を理解する ・経済に関する語彙を増やす 	
<p>学習項目</p> <p>オランダってどんな国？・天然資源と通貨高・不況を打開するためのワークシェアリング</p>	

テーマ	活動
歌	<ul style="list-style-type: none"> ●「明日があるさ」を全員で歌う
ビデオ① 質問①	<ul style="list-style-type: none"> ●ビデオを見る：オランダってどんな国？（00:00~6:25） ●グループでビデオの内容について話しあう ●ビデオ①に関する質問 Q1：オランダはどんな国ですか？ Q2：どんなものを輸出していますか？ Q3：どうしてそれ（チーズや切り花など）を作っていますか？
ビデオ② 質問②	<ul style="list-style-type: none"> ●ビデオ②：天然ガスから不況まで（6:25~11:57） ●グループでビデオの内容について話しあう ●ビデオ②に関する質問 Q1：20 数年前、オランダで何がありましたか？ Q2：天然ガスが採れると良いですか？悪いですか？ Q3：オランダは、天然ガスをどうしましたか？ Q4：オランダはどうになりましたか？
ビデオ③ 質問③	<ul style="list-style-type: none"> ●ビデオ③：ワークシェアリング（11:57~19:05） ●グループでビデオの内容について話しあう ●ビデオ③に関する質問 Q1：会社にお金が入らなくなって、社員にお金が払えなくなりました。会社はどうしましたか？ Q2：ワークシェアリングをすると、仕事がない人は多くなりますか、少なくなりますか？ Q3：ワークシェアリングでは、働く時間は多くなりますか、少なくなりますか？ Q4：ワークシェアリングでは、給料は多くなりますか、少なくなりますか？ Q5：オランダでは、正社員とパートタイマー、1時間の給料は同じですか、違いますか？ Q6：日本では、正社員とパートタイマー、1時間の給料は同じですか、違いますか？ Q7：ワークシェアリングを始めて、良いことが2つありました。それはどんなことですか？ Q8：それ（消費アップ・出生率アップ）はどうしてですか？
まとめ	Q1：オランダは何で儲かっていますか？ Q2：20 数年前、オランダの経済はとても悪くなりました。どうしてですか？

語彙リスト配布	<p>Q3: 天然ガスが採れると、そのあとどうなりますか？</p> <p>Q4: ドルがたくさんオランダに入ると、どうしてダメですか？</p> <p>Q5: ギルダーの値段が上がると、どうなりますか？</p> <p>Q6: 会社にお金が入らなくなって、社員にお金が払えなくなりました。オランダはどうしましたか？</p> <p>Q7: ワークシェアリングって何ですか？</p> <p>Q8: ワークシェアリングはどうして良いですか？何のためにワークシェアリングをしますか？</p> <p>Q9: 他に良いことが2つありました。どんなことですか？</p> <p>●次回のトピックである「そうだったのか！新総理誕生」の語彙リストを配布する</p>
---------	--

反省
<p>一番最初が「オランダはどのような国か」という内容だったので、比較的語彙も理解しやすく、ビデオの導入部としては適当なレベルであったと思われる。途中、天然ガスから不況までの話では、出来事の因果関係など、少し内容が難しかったようで、質問に答えていた学習者が少なかったが、ワークシェアリングのところでは、質問の仕方が「AかBかどちらですか」という単純な聞き方だったためか、質問に答えている学習者が多くなった。もう少し、因果関係を整理して、答えやすい質問になるように考えたほうがよかったと感じた。</p>


<p>8月4日 聴解クラス 4回目</p>	<p>担当 今澤ひろ子</p>
<p>到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「そうだったのか！新総理誕生」の内容を理解する ・日本の政治に関する語彙を増やす 	
<p>学習項目</p> <p>総理大臣が決まるまで・与党と野党・民主党と自民党・幹事長と官房長官はどう違う？</p>	

テーマ	活動
歌	<ul style="list-style-type: none"> ●「明日があるさ」を全員で歌う
ビデオ①	<ul style="list-style-type: none"> ●ビデオを見る：総理大臣が決まるまで (0:00~5:29) ●グループでビデオの内容について話しあう
質問①	<ul style="list-style-type: none"> ●ビデオ①に関する質問 <p>Q1: なんについての話でしたか？</p>

	<p>Q2：新しい総理大臣は誰ですか？</p> <p>Q3：前に総理だった人は？</p> <p>Q4：何党の人？</p> <p>Q5：他にはどんな党が出てきた？</p> <p>Q6：与党・野党ということばがあります。どっちがどっち？</p> <p>Q7：どうやって総理大臣になりますか？</p> <p>Q8：どんな人が総理大臣になれますか？</p> <p>Q9：法律で決まっていますか？</p> <p>Q10：他の人がなると困ったことがあります。何ですか？</p>
ビデオ②	<p>●ビデオを見る：菅さんってどんな人？（5:29~7:42）</p> <p>●グループでビデオの内容について話しあう</p>
質問②	<p>●ビデオ②に関する質問</p> <p>Q1：二世議員、三世議員って言葉がでてきました。どういう人ですか？</p> <p>Q2：菅さんは二世議員ですか？三世議員ですか？どちらでもないですか？</p> <p>Q3：他には？</p>
ビデオ③	<p>●ビデオを見る：幹事長と官房長官（7:42~15:51）</p> <p>●グループでビデオの内容について話しあう</p>
質問③	<p>●ビデオ③に関する質問</p> <p>Q1：幹事長と官房長官、何が違いましたか？</p> <p>Q2：誰だったか覚えていますか？</p> <p>Q3：幹事長は民主党のポストです。何番目にえらいですか？何番目に力がありますか？</p> <p>Q4：幹事長は2番目だけど、一番大事な仕事をします。どうして？</p> <p>Q5：幹事長がする大事な仕事って何ですか？</p> <p>Q6：官房長官の仕事は？</p> <p>Q7：大臣ですか？大臣じゃありませんか？</p>
まとめ	<p>Q1：今の日本の総理大臣は誰ですか？</p> <p>Q2：前は？</p> <p>Q3：日本の大きな政党は？</p> <p>Q4：菅さんは何党ですか？</p> <p>Q5：幹事長と官房長官の違いはなんでしたか？</p>
語彙リスト配布	<p>●次回のトピックである「そうだったのか！日本の借金」の語彙リストを配布する</p>

反 省

漢字の量や、新出語彙の量など、語彙の面で苦しいだけでなく、政治の仕組みなども難しかったようである。グループでの話し合いの時間に、教師が机間巡視を行い、話し合いに加わるべきだったかもしれない。

8月5日 聴解クラス 5回目	担当 入江友理
到達目標 ・「そうだったのか！日本の借金」の内容を理解する ・政治や経済に関する語彙を増やす	
学習項目 国債って何？・建設国債と赤字国債・財政破たんとは？・ギリシャの財政破たん	

テーマ	活動
歌	<ul style="list-style-type: none"> ●「明日があるさ」を全員で歌う
	<ul style="list-style-type: none"> ●ことばの確認→貸す／借りる／返す／借金
ビデオ①	<ul style="list-style-type: none"> ●ビデオ①：国の借金の仕組み（0:00~8:43） ●グループでビデオの内容について話しあう
質問①	<ul style="list-style-type: none"> ●ビデオ①に関する質問 Q1：日本の借金はいくらですか？ Q2：国はどうして借金をしますか？何のために借金をしますか？ Q3：国はどこから借金をしていますか？どこからお金を借りていますか？ Q4：国債って何ですか？ Q5：銀行はどうして国債を買いますか？銀行はどうして国にお金を貸していますか？ 国債を持っていると、どうしていいですか？
ビデオ②	<ul style="list-style-type: none"> ●ビデオ②：日本の国債（8:43~13:47） ●グループでビデオの内容について話しあう
質問②	<ul style="list-style-type: none"> ●ビデオ②に関する質問 Q1：国債を発行すると、法律違反とありました。なのになぜ国債を発行できますか？ Q2：法律違反ではない、特別な国債が二つありました。何と何ですか？ Q3：建設国債ってどんな国債ですか？ Q4：どうして公共事業には借金してもいいですか？

	<p>Q5：赤字国債ってどんな国債ですか？</p> <p>Q6：赤字国債は公共事業と関係ありますか？</p> <p>Q7：関係ないのにどうして発行できますか？</p>
ビデオ③	<p>●ビデオ③：ギリシャの財政破たん（13:47~19:48）</p> <p>●グループでビデオの内容について話しあう</p>
質問③	<p>●ビデオ③に関する質問</p> <p>Q1：日本とギリシャ、借金が多いのはどちらですか？</p> <p>Q2：なのにどうして、日本は大丈夫ですか？</p> <p>Q3：ギリシャは誰が国債を買っていますか？</p> <p>Q4：日本は誰が国債を買っていますか？</p> <p>Q5：国内の人が買っていると良くて、外国が買っていると悪いのはどうしてですか？</p>
まとめ	<p>Q1：日本の借金はだいたいいくらくらいですか？</p> <p>Q2：国の借金を何と言いますか？</p> <p>Q3：国はだれからお金を借りていますか？</p> <p>Q4：特別な国債が2つ出てきました。何ですか？</p> <p>Q5：建設国債はどんな国債ですか？</p> <p>Q6：赤字国債ってどんな国債ですか？</p> <p>Q7：日本は借金が多いのに、どうして大丈夫ですか？ギリシャと何が違いますか？</p>

反 省	
<p>前日に引き続き、日本の政治に関わる話題であり、語彙が難しかったにもかかわらず、内容確認の質問に積極的に答える様子が見て取れた。</p> <p>しかし、スキーマのある法学部の学習者や、日本語能力が比較的高い学習者は、内容を理解できていたようだが、そうでない学習者にはやはり難しかったようで、学習者同士の話し合いにもあまり参加できていないようであった。レベル差を考慮してもう少し工夫出来たらよかったと感じた。</p>	

4.4.5 聴解クラス全体の反省

学習者にかなりレベル差があり、うまく配慮することが難しかった。3回目の授業から、ビデオを見た後、グループで内容について話し合う時間を設けたが、レベル差や専門の違いを考慮してグループ分けをするのがあまりうまくいっていないときがあった。ビデオを理解するのが難しい学習者が、理解できている学習者と協力して内容を理解できるようにしたかったが、不十分であったと思う。

テーマに関して、「EUとユーロ」や「オランダ」はカタカナや英語が多く、内容も比較的単純

であったため、普段あまり学ぶ機会のない内容であっても、わかりやすいようであった。一方「新総理誕生」と「日本の借金」は漢字が多く、内容も複雑であったため、漢字が苦手な学習者にとっては難しい内容だったようである。また、今回は日本の政治に関するテーマが2つになってしまい、さらに経済や法律に関するテーマが多かったため、もう少し教育や社会といった幅広いジャンルのテーマが用意できれば良かったと感じた。

ただ、番組そのものには興味を持ってくれた学習者も多くいて、実習終了後、クラスで見たビデオやそれ以外のテーマのビデオの貸し出し²⁷を行ったところ、ある学習者2名が特に熱心に借りに来ており、「とても面白い」と話していた。学習者が興味を持てるものを紹介することができたようで、その点で大変有意義なクラスになったと思われる。

(担当 入江友理)

²⁷ 実習中、授業で見たビデオをもう一度見たいと希望した学習者が何人かいた。しかし、著作権の問題から、授業で見たビデオをそのまま提供することができないため、ビデオの貸し出しを行うことにした。ビデオの貸し出しは、実習終了後1カ月間、週に1回、聴解クラス担当者が行った。ビデオは授業で見たものに加え、テーマ選択時に候補として挙げたが授業では見なかった他のビデオについても貸し出しを行った。数名に貸し出したが、すべて返却済みである。

第 5 章 事後調査

5.1 漢字クラス

漢字クラスで事後調査のアンケートに回答したのは 14 名であった。以下に回答をまとめる。

1) このクラスはどうでしたか。

とてもよかった	9 名
まあまあよかった	5 名
あまりよくなかった	0 名
全然よくなかった	0 名

2) クラスで勉強したことがわかりましたか。

とてもよくわかった	6 名
まあまあわかった	7 名
あまりよくわからなかった	1 名
全然わからなかった	0 名

3) このクラスの勉強は役に立つと思いますか。

とてもそう思う	12 名
まあまあそう思う	2 名
あまりそう思わない	0 名
全然そう思わない	0 名

4) クラスのやり方で改善したほうが良いことはありましたか。

<ul style="list-style-type: none">・とてもいいです。・先生の声がいいです。プリントもいいです。もっとかんたんの material for novice student.・授業の進めはちょっと速い・もっとながくしていいとおもいます。・内容はもっと豊かならいいと思う。・内容はもっと多い方がいいと思います。・プリントがわかりづらい。

5) クラスの感想を自由に書いてください。

<ul style="list-style-type: none">・いろいろ教えてくれて面白くて楽しかったです。

- ・クラスはおもしろいです。クイズもおもしろかった。ありがとうございます、先生！
- ・おもしろい五日間経ちました。楽しかった。
- ・なつやすみでいいクラスできてうれしかったです。
- ・ありがとうございます
- ・ほかのクラスでおしえないことをおしえているからいいとおもいます。

漢字クラスは推測の手がかりを知るということを目標とし、従来の漢字や語彙クラスとは異なっていたため、2) のクラスで勉強したことがわかりましたかという質問に対し、「まあまあよくわかった」が「とてもよくわかった」より多く、学習者にとって難しかった部分もあったと思われる。しかし、3) のクラスの勉強は役立つと思いますかという質問に対してはほとんどの学習者が「とてもそう思う」と答え、推測の手がかりの提示が学習者にとって有益であったことが窺われた。

授業の内容に関して、「内容がもっと多いほうがいいと思う」との回答があったことから、単漢字や二字熟語の読み方や意味の推測から、さらに短文・長文と練習を広げタスクに取り組ませるべきだったと思われる。一方、「たのしかった」や「クイズも面白かった」、「ほかのクラスでおしえないことをおしえているからいいとおもいます」との回答は、今回推測の方法を提案する新たな試みが学習者にとって有益であったことや、推測の練習をクイズ形式で行い、学習者がゲーム感覚で楽しくタスクに取り組むことが出来たことが学習に効果的であったと考えられる。今後も様々な方法で漢字学習を促す方法を考えるべきであると思われる。

5.2 E メールクラス

E メールクラスで事後調査のアンケートに回答したのは 14 名であった。以下に回答をまとめる。

1) このクラスはどうでしたか。

とてもよかった	11 名
まあまあよかった	3 名
あまりよくなかった	0 名
全然よくなかった	0 名

2) クラスで勉強したことがわかりましたか。

とてもよくわかった	12 名
まあまあわかった	2 名
あまりよくわからなかった	0 名
全然わからなかった	0 名

3) このクラスの勉強は役に立つと思いますか。

とてもそう思う	14名
まあまあそう思う	0名
あまりそう思わない	0名
全然そう思わない	0名

4) クラスのやり方で改善したほうが良いことはありましたか。

- ・さいしょのクラスはしりょうをくばらなかった²⁸。
- ・とてもよかった。
- ・いいと思います。
- ・たぶんもっといろいろなテーマ(theme)のほうが良いです。
- ・もっと範文はくばれば良いです。
- ・とても良いです。

5) クラスの感想を自由に書いてください。

- ・どこでもべんきょうしなかったことをべんきょうしたのでうれしいです。
- ・ひょうげんをまとめてくれるのはすごく役に立つ。
- ・このクラスにさんかしてとてもうれしい。ほんとうにやくにたった。
- ・ありがとうございました。
- ・いい勉強になりました。
- ・OOPower point!! :)
- ・とても役に立つです。
- ・いいクラスです。Email のじょうほう(information)はたいせつです。いろいろ勉強しました。ありがとうございます。先生！
- ・とてもよかったとおもいます。
- ・日本語の E メールの書き方を教えてくれましたので、さいわいです。

Eメールの書き方に関しては、これまでに勉強したことがない学習者がほとんどであったと思われる。そのため、「勉強したことがないことを勉強できてよかった」「役に立つ」という回答があったのが印象的であった。このクラスで学習した内容が学習者にとって有益であったことが窺われた。

しかし、授業の内容に関して、「もっといろいろなテーマがあったほうが良い」との回答があったことから、さらに Eメールのやりとりをする状況を考え、もっと多様な場面の Eメールを考えるべきであったと思われる。また、「もっと表現を紹介したほうが良い」との回答があったことに関して、学習者は Eメールで使われる表現をもっとたくさん知りたいと思っていることがわ

²⁸ Eメールクラスでは2日目から資料(PPT)を配ったため1日目では配らなかった。

かった。これも E メールに関して普段授業で学ぶことが少ないためであろう。

5.3 発音クラス

発音クラスで事後調査のアンケートに回答したのは 8 名であった。以下に回答をまとめる。

1) このクラスはどうでしたか。

とてもよかった	8 名
まあまあよかった	0 名
あまりよくなかった	0 名
全然よくなかった	0 名

2) クラスで勉強したことがわかりましたか。

とてもよくわかった	5 名
まあまあわかった	3 名
あまりよくわからなかった	0 名
全然わからなかった	0 名

3) このクラスの勉強は役に立つと思いますか。

とてもそう思う	14 名
まあまあそう思う	0 名
あまりそう思わない	0 名
全然そう思わない	0 名

4) クラスのやり方で改善したほうがいいことはありましたか。

- ・内容がもっと多い方がいいと思います。
- ・もっと **Role Play** をお願いします。
- ・プリントがわかりづらい。

5) クラスの感想を自由に書いてください。

- ・たのしくておもしろかったクラスです。
- ・ほんとに役立つです。
- ・とてもよかったです。
- ・ありがとうございました。
- ・さほう（作法）を勉強しました。
- ・これから気をつけます。

・発音は上手になりました。

このクラスの評価として、回収した8名全員が「とてもよかった」、「とても役に立つと思った」と答えたのが、印象に残り、大変うれしく思われた。

AD 図については、一日目のオリエンテーション時でほとんどの学生が初めて接するとわかったが、2) の理解度についての質問で、全員が「とてもよくわかった」「まあまあわかった」のどちらかで答えていた。受講者に概ね理解が得られたと受け取られる。

クラスの感想では、「役に立つ」「作法を勉強しました」「発音が上手になった」など好意的な意見が多く、授業に対して肯定的に捉えられていることがわかった。

しかし、クラスのやり方では「内容がもっと多い方がいい」「もっと Role Play をお願いします」という意見があった。学生達は自己紹介や先生への訪問時以外の場面でも、正しい発音や音声で話したい希望のあることが確認された。また、「プリントがわかりづらい」という意見もあり、今後の課題としたい。

5.4 聴解クラス

聴解クラスで事後調査のアンケートに回答したのは13名であった。以下に回答をまとめる。

1) このクラスはどうでしたか。

とてもよかった	9名
まあまあよかった	3名
あまりよくなかった	1名
全然よくなかった	0名

2) クラスで勉強したことがわかりましたか。

とてもよくわかった	5名
まあまあわかった	5名
あまりよくわからなかった	3名
全然わからなかった	0名

3) このクラスの勉強は役に立つと思いますか。

とてもそう思う	10名
まあまあそう思う	3名
あまりそう思わない	0名
全然そう思わない	0名

4) クラスのやり方で改善したほうが良いことはありましたか。

- ・いいと思います。
- ・ There should be differentiate of level for participant.
- ・見る後で、たぶん先生もういちどうせつめいして下さい。
- ・プリントがわかりづらい。

5) クラスの感想を自由に書いてください。

- ・ありがとうございます。
- ・いいクラスです。
- ・みんなの level がちがうので、ぎろんすることがむずかしかった
- ・むずかしでしたが、とてもおもしろいでした。
- ・おもしろかった。
- ・とてもとてもとてもすばらしいちょうかいクラスです。
- ・とてもよかったです。
- ・とてもいいクラスだった。いまからこのばんぐみを見ることにします。

聴解クラスに関しては、「面白かった」という声が多く見られた。アンケートからも、半数以上の人が満足してくれたように思う。今後、番組を見ることにするという感想も大変嬉しく、今後の学習につながったことから聴解クラスの目標の一部も達成できたことがわかる。

しかし、改善点にも挙げられたように、レベル差が激しかったため受けにくい授業だったようである。日本語レベルだけではなく、知識にも差があったことも関係があるかもしれない。配布したプリントがわかりづらかったという意見も見られた。プリントは語彙リストと番組スクリプトを配布したが、どちらも分量が多く、特にスクリプトは対訳もなかったので負担が大きかったのかもしれない。

(担当 今澤ひろ子・入江友理・姜京男・塩瀬博子)

第 6 章 まとめ

実習準備

2010 年度名古屋大学夏季日本語教育実習の集中日本語コースは、7 月 30 日（金）から 8 月 5 日（木）にかけて 5 日間行うことになり、その実施に向けて 4 月から準備をした。

最初のミーティングでコースの基本概念と開講するクラスの種類、各科の主担当者と副担当者の決定、各仕事の分担などがスムーズに決まった。開講するクラスは個別の技能に特化したクラスとなった。それ以来実習まで特に問題なく順調に準備を進めることができたのは、各実習生がそれぞれの分担を責任を持って遂行し、チームワークがよかったことと、先生方より適切なアドバイスを受けることができたことがその一因であるかと思われる。

実習実施

本コースでは、1 回目の授業（オリエンテーション）を 7 月 30 日（金）に設定した。そのことがその後の実習においてプラスに働いたと考えられる。それにより、金曜日のオリエンテーション時に実習生が受講者の様子やレベルなどを確認することができた。週末を挟むことにより、2 回目の 8 月 2 日（月）まで調整の時間が得られ、計画の見直し・手直しができた。

また、本コースでは漢字・E メール・発音・聴解という個別の技能に特化した 4 つのクラスを設定した。それはいずれも日本語学習において困難と考えられるテーマや、普段の授業でなかなか取り上げることのない技能の向上を図るという目的で設定された。終了した時に何ができているか、何が学習者の助けとなるのか、という目標が明確な実習であったと考えている。

事後調査アンケートの自由回答では、「とても役に立ちます」という記述がいくつか見られた。また「(期間を) もっと長くやってほしい」という声も聞かれた。各クラスの授業内容が特殊だったことで、学習者がより興味を持ってくれたと思われる。

実習全体

実習生には各々反省点や困難点があったかと思われるが、受講者の事後調査アンケートで概ね肯定的な評価がなされていたことで、満足感や達成感を得ている。4 月から全体や各クラスのミーティングを重ね、準備に 4 か月の労を費やした分、実習から大きな学びを得ることができた。この実り多い実習経験を基にして、今後の日本語教育につなげていきたい。

(担当 塩瀬博子)